

令8現単生工第1号 堀之内体育館管理棟外部改修工事

図 面 目 録					
区 分	図 番	図 面 名 称	区 分	図 番	図 面 名 称
意 匠	A - 01	図面リスト	意 匠	A - 33	改修後 部分詳細図 3
	A - 02	特記仕様書ー 1		A - 34	屋上防水 笠木詳細図 1
	A - 03	特記仕様書ー 2		A - 35	屋上防水 笠木詳細図 2
	A - 04	特記仕様書ー 3		A - 36	屋上防水 笠木詳細図 3
	A - 05	特記仕様書ー 4		A - 37	現況・改修後 押えコンクリート部_範囲図
	A - 06	特記仕様書ー 5		A - 38	現況・改修後 押えコンクリート部_平面図・断面図
	A - 07	特記仕様書ー 6		A - 39	ポーチ部天井伏詳細図・断面詳細図
	A - 08	設計概要・附近見取図・配置図		A - 40	現況 雪庇防止フェンス平面図・断面図
	A - 09	改修 1 階平面図		A - 41	改修後 雪庇防止フェンス平面図・断面図
	A - 10	改修 2 階平面図			
	A - 11	現況 R 階平面図			
	A - 12	改修後 R 階平面図			
	A - 13	改修 立面図			
	A - 14	断面図			
	A - 15	現況 断面詳細図 1			
	A - 16	改修後 断面詳細図 1			
	A - 17	現況 断面詳細図 2			
	A - 18	改修後 断面詳細図 2			
	A - 19	現況 断面詳細図 3			
	A - 20	改修後 断面詳細図 3			
	A - 21	現況 断面詳細図 4			
	A - 22	改修後 断面詳細図 4			
	A - 23	現況 断面詳細図 5			
	A - 24	改修後 断面詳細図 5			
	A - 25	建具キープラン			
	A - 26	建具表 1			
	A - 27	建具表 2			
	A - 28	現況 部分詳細図 1			
	A - 29	改修後 部分詳細図 1			
	A - 30	現況 部分詳細図 2			
	A - 31	改修後 部分詳細図 2			
	A - 32	現況 部分詳細図 3			

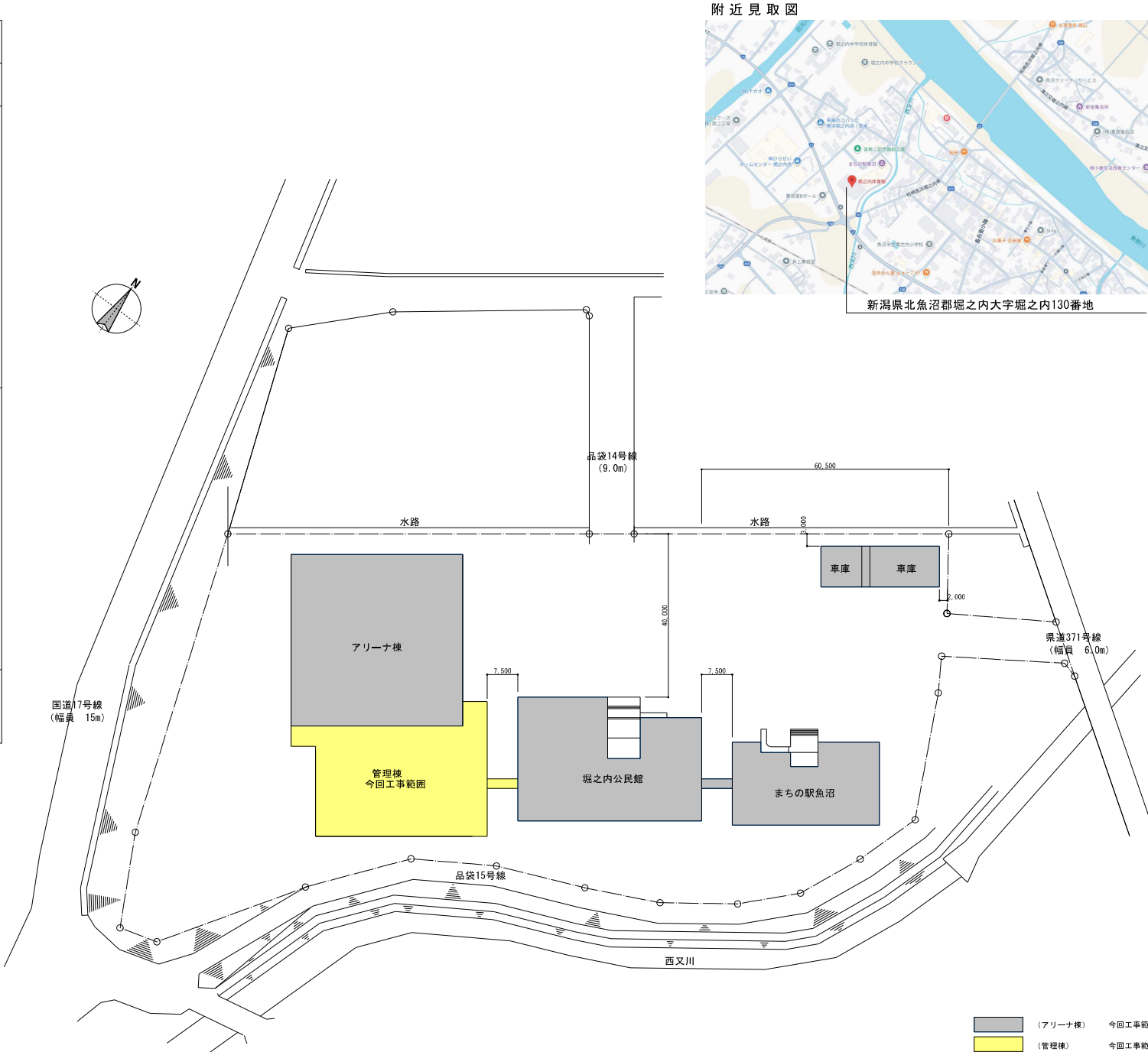
圖面 No. A-04

圖面 No. A-06

① 追加特記	公共事業費負担 調査への協力	※協力する																																																
	工事監理方式	共同監理 ・ 有り ・ 無し																																																
② 追加特記	適用基準等	・ 宮城工事電子納品要領（国土交通省大臣官庁官庁管轄部局整備課施設設計係） ※工事進行マニュアル（新潟県土木部都市局整備課作成）																																																
	総合図	※作成する																																																
③ 追加特記	工事成績評定	※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創設工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。 （様式等は、工事進行マニュアルによる。）																																																
	工事区分表	注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。																																																
④ 追加特記	基礎関係	項目 埋電(空)開閉 備考 1. RC造(梁・壁・床) の貫通孔・開口部補修 貫通孔・材及び取付け ○○○○ 補強を要しない型枠材及び取付け ○ 貫通孔・開口部の撤出し ○○○○ 貫通孔・開口部の補強 ○ 2F・2F以上の穴埋め ○○○○ S・SRC造(はり) 貫通口 S・SRC造貫通鋼管設置2F・2F補強 ○ 使用された2Fの穴埋め ○○○○ 予備2Fの穴埋め ○○○○ 3. 設備機器の基礎 建築設計図に記入のあるもの ○ 室内の基礎(建築設計図に記入のないもの) ○○○○ 屋外・屋上の基礎 ○ 地上基礎で押さえ2Fに付かない軽微なもの ○○○○ 機器取付け用2F・基台 ○○○○ 屋内受水わづ用の基礎 ○ 仕上り関係 鉄筋天井・壁下地 補強を用いるが「-」の切り込み及び下地の補強 ○ 補強を要しないが「-」の切り込み ○○○○ 開口部の撤出し ○○○○ 電気関係 電気配管配線 機器付属の制御盤以降の配管配線(雑機線共) ○○○○ 二次側 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 ○ 一次側 機器付属操作スイッチの取付け及び配管配線 ○○○○ その他(工事区分を特に明記しやすい項目) 天井材 取外し再取付(各種配管配線作業用) ○△△△ 小規模は要協議 床はつり補修 各種配管配線作業用 ○△△△ 小規模は要協議 流し台・ガス台 ○ 便所手洗いカマ ○ 衛生陶器は衛生設備 洗面化粧台 ○ ガス漏れ検知器 ○ 24時間監視 機器納入 ○ 取付は電気設備 運動スイッチ 取付 ○ 機器納入は衛生設備 湯沸器 機器納入 ○ 取付は電気設備 運動スイッチ 取付 ○ 機器納入は衛生設備																																																
	発生処理等 [1.3.12]	1 再生資材の利用 下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。 <table border="1"><thead><tr><th>再生資材名</th><th>規格</th><th>使用箇所</th><th>再資源化施設名・所在地</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 2 建設発生土の利用 盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。 <table border="1"><thead><tr><th>発注機関</th><th>工事名</th><th>発生場所</th><th>施工会社名・連絡先</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 3 建設発生土の搬出 工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。 <table border="1"><thead><tr><th>受入工事名/施設名称</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事場所/施設所在地</td></tr><tr><td>運送場所の有無</td></tr><tr><td>仮置場の有無</td></tr><tr><td>備考</td></tr></tbody></table>	再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考																発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考																受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	運送場所の有無	仮置場の有無	備考			
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考																																														
発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考																																														
受入工事名/施設名称																																																		
工事場所/施設所在地																																																		
運送場所の有無																																																		
仮置場の有無																																																		
備考																																																		
⑤ 追加特記	中間技術検査	低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。																																																
	工事内容	屋上防水改修 各面詳細図等による 下記以外全ての外壁面は高圧水洗浄 20Mpa コンクリート打放し表面保護剤塗布外壁面高圧水洗浄 水圧30Mpa セミクリアードガード工法 光触媒コーティング剤吹付 タイル部分外壁面高圧水洗浄 水圧30Mpa 光触媒コーティング剤吹付 ポーチ部床タイル面高圧水洗浄 既許シーリング材の打ち替え（一部サッシ方立部共） 外部鋼製建具の現状塗装仕上げの塗り替え コンクリート打放し面のひび割れ部改修 高浸透形吸水防止コンクリート打放し工法 セミクリアードガード工法（標準施工仕様は下記による。）（エスケー研株式会社 同等品） <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工程</th><th rowspan="2">材料</th><th rowspan="2">割合(重量比)</th><th rowspan="2">所要量(kg/m²)</th><th rowspan="2">使用回数</th><th colspan="2">工期時間(h・m)</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>本稼働</th><th>最終養生</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">1 下塗り</td><td>セムクリアードコート</td><td>100</td><td>0.10~0.13</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">3以上</td><td rowspan="2">—</td></tr><tr><td>清 水</td><td>0~15</td></tr><tr><td rowspan="2">2 終塗り</td><td>セムクリアード終塗り</td><td>100</td><td>下地の状況に応じ適量</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">3以上</td><td rowspan="2">—</td></tr><tr><td>清 水</td><td>0~10</td></tr><tr><td rowspan="2">3 上塗り</td><td>セムクリアードFカラーリヤー 主剤</td><td>100</td><td>0.10~0.13</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">24以上</td></tr><tr><td>セムクリアードF硬化剤</td><td>1.23</td><td>0.10~0.13</td></tr><tr><td></td><td>清 水</td><td>0~15</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 光触媒コーティング吹付 フッ素樹脂ベース多機能光触媒コーティング剤 NF22 （株式会社 ケミカル・テクノロジー 同等品） 押出法R131077保溫材3種b ネオマフォーム（一般品）25-RG （旭化成建材株式会社 同等品） 屋上防水 塩ビシート防水 接着工法・塩ビシート防水 機械固定工法 アークヤマデ（株） 同等品	工程	材料	割合(重量比)	所要量(kg/m²)	使用回数	工期時間(h・m)		備考	本稼働	最終養生	1 下塗り	セムクリアードコート	100	0.10~0.13	1	—	3以上	—	清 水	0~15	2 終塗り	セムクリアード終塗り	100	下地の状況に応じ適量	1	—	3以上	—	清 水	0~10	3 上塗り	セムクリアードFカラーリヤー 主剤	100	0.10~0.13	1	—	—	24以上	セムクリアードF硬化剤	1.23	0.10~0.13		清 水	0~15	—			
工程	材料	割合(重量比)						所要量(kg/m²)	使用回数		工期時間(h・m)			備考																																				
			本稼働	最終養生																																														
1 下塗り	セムクリアードコート	100	0.10~0.13	1	—	3以上	—																																											
	清 水	0~15																																																
2 終塗り	セムクリアード終塗り	100	下地の状況に応じ適量	1	—	3以上	—																																											
	清 水	0~10																																																
3 上塗り	セムクリアードFカラーリヤー 主剤	100	0.10~0.13	1	—	—	24以上																																											
	セムクリアードF硬化剤	1.23	0.10~0.13																																															
	清 水	0~15	—																																															

設計概要書

■ 工 事 名	
堀之内体育館管理棟外部改修工事	
■ 建 築 主	姓 名
	新潟県魚沼市小出島910番地
	氏 名
	魚沼市長 内田 幹夫
■ 敷 地 概 要	
1.	地 名 地 番
	新潟県北魚沼郡堀之内大字堀之内130番地
2.	面 積
	6,450.00 m ²
3.	道 路
	国道17号線 幅員 15m
4.	用 途 地 域
	第1種住居地域
	建築率限度 60 %
	容積率限度 200 %
5.	斜 線 制 限
	制限なし
6.	防 火 地 域
	指定なし
7.	日 影 規 制
	指定なし
8.	高 度 地 区
	指定なし
9.	その他の指定
	指定なし
■ 建物概要	
1.	主 要 用 途
	体育館
2.	建 築 の 種 別
	改修
3.	構 造 の 規 模
	鉄筋コンクリート造+木造(大断面集成材)
4.	階 数
	地上 2階
5.	建築物の高さ
	最 高 の 高 さ 19,472 mm
	最 高 の 軒 の 高 さ 16,900 mm
6.	面 積
	建築面積 3,084.74 m ²
	延床面積 4,925.78 m ²
	1階床面積 2,995.00 m ²
	2階床面積 1,927.78 m ²
■ 工事概要	
管理棟：外壁改修、防水改修	



一級建築士事務所
株式会社 基設計

基設計

住 所 〒950-0916 新潟県中蒲原郡山田町13番11号
TEL 025-245-0381 FAX 025-247-0308
管理建築士 一級建築士登録第14555号 横井 幹夫

工事名称 令和8年度生工第1号 堀之内体育館管理棟外部改修工事
図面名称 附近見取図・配置図

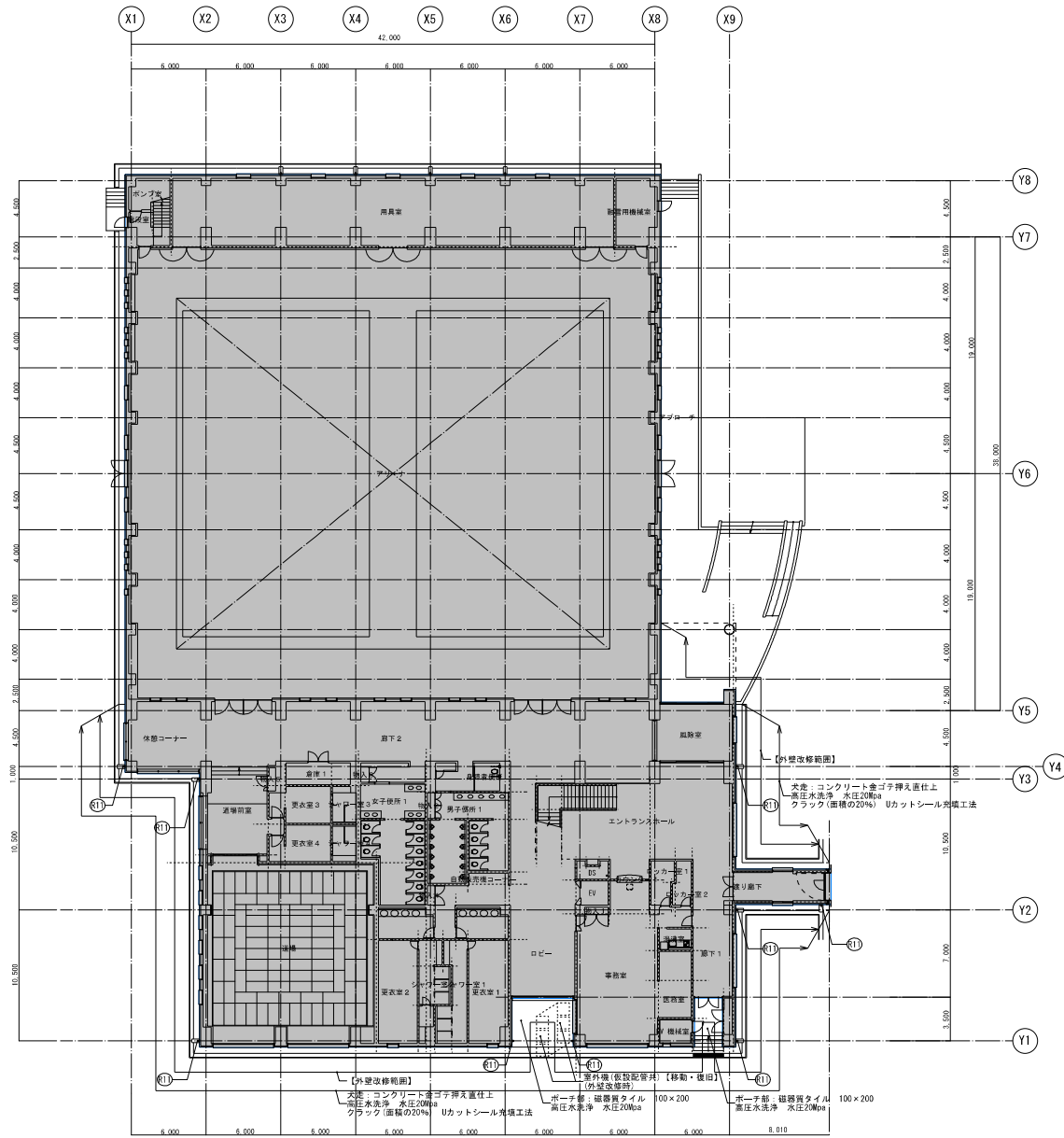
縮尺 A1 1:500
A3 1:1000

設計番号 2025-6-A

代表設計者 一級建築士登録第329055号 小堀 公治
設計者 一級建築士登録第329055号 小堀 公治

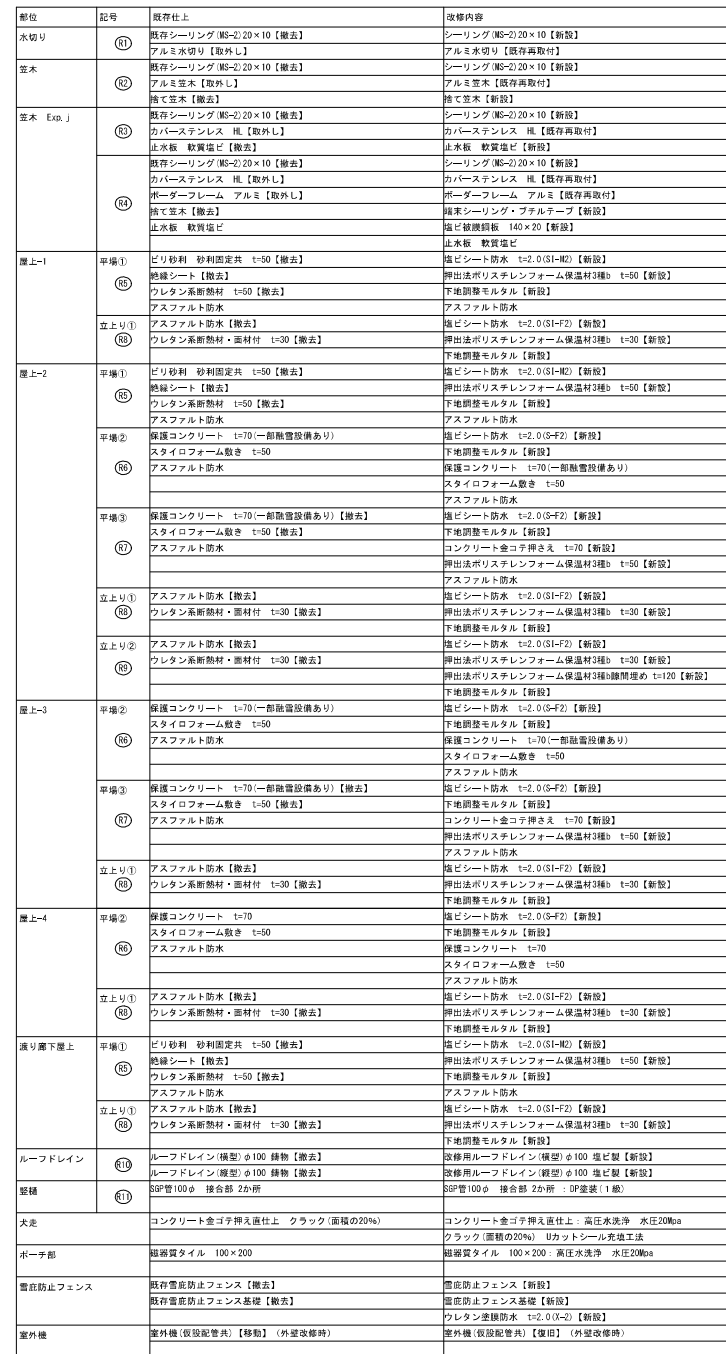
確認 作 成 年 月 日 令和8年1月

図面 No. A-08

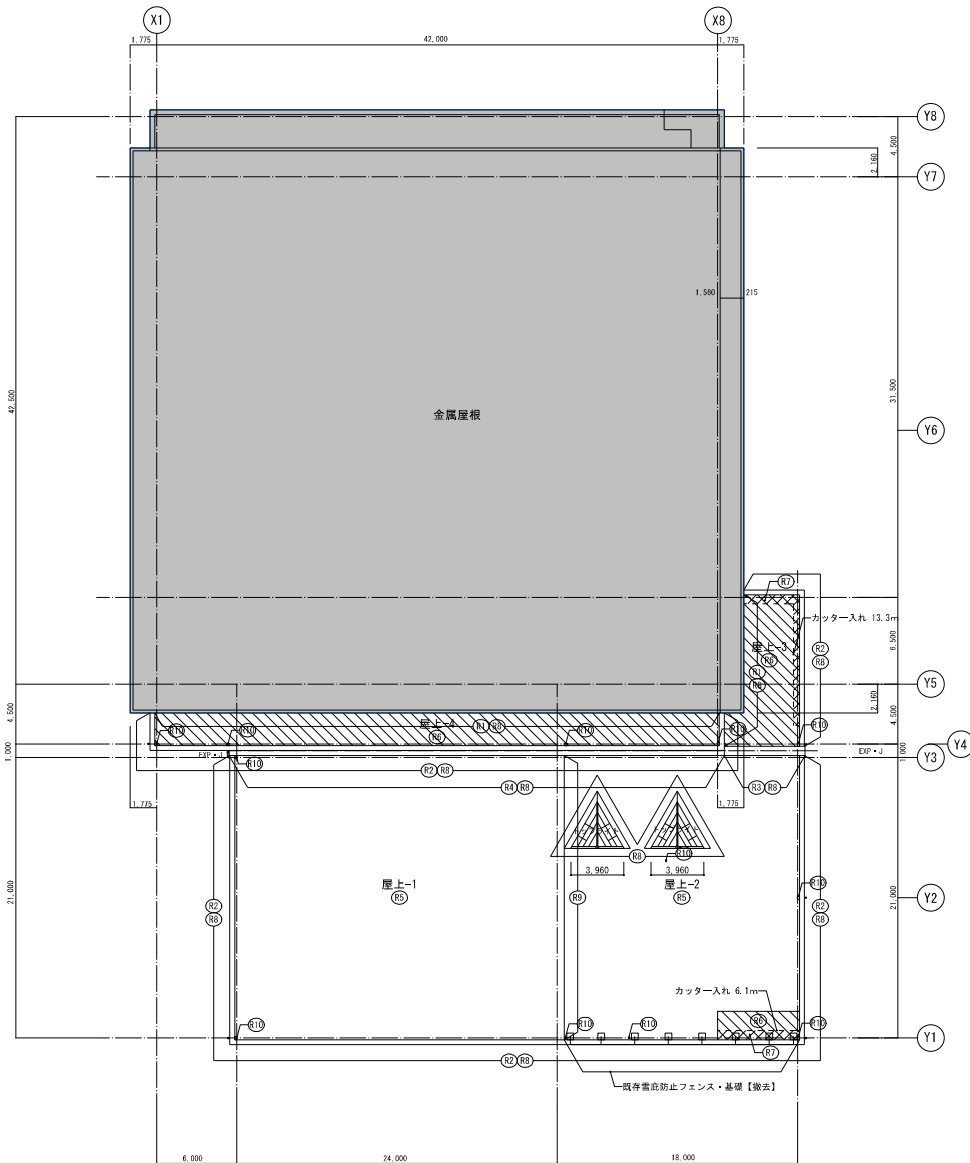


部位	記号	既存仕上	改修内容
水切り	(R1)	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 アルミ水切り 【取外し】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 アルミ水切り 【既存再取付】
笠木	(R2)	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 アルミ笠木 【取外し】 捨て笠木 【撤去】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 アルミ笠木 【既存再取付】 捨て笠木 【新設】
笠木 Exp. J	(R3)	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 カバーステンレス 皿 【取外し】 止水板 軟質塩ビ 【撤去】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 カバーステンレス 皿 【既存再取付】 止水板 軟質塩ビ 【新設】
	(R4)	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 カバーステンレス 皿 【取外し】 ボーダーフレーム アルミ 【取外し】 捨て笠木 【撤去】 止水板 軟質塩ビ	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 カバーステンレス 皿 【既存再取付】 ボーダーフレーム アルミ 【既存再取付】 端束シーリング・プルテープ 【新設】 塩ビ被覆鋼板 140×20 【新設】 止水板 軟質塩ビ
屋上-1	平場①	ビリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】
	(R5)	熱線シート 【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】
	(R6)	ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】	下地調整モルタル 【新設】
	(R7)	アスファルト防水	アスファルト防水
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】
屋上-2	平場①	ビリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】
	(R5)	熱線シート 【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】
	(R6)	ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】	下地調整モルタル 【新設】
	(R7)	アスファルト防水	アスファルト防水
	平場②	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R8)	アスファルト防水	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
	平場③	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) 【撤去】 スタイロフォーム敷き t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 コンクリート金コテ押さえ t=70 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 アスファルト防水
	(R9)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R10)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	立上り②	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R11)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
屋上-3	平場②	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
	(R12)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	平場③	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) 【撤去】 スタイロフォーム敷き t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 コンクリート金コテ押さえ t=70 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 アスファルト防水
	(R13)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R14)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
屋上-4	平場②	保護コンクリート t=70 スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 保護コンクリート t=70 スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
	(R15)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R16)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
通り廊下屋上	平場①	ビリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】
	(R17)	熱線シート 【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】
	(R18)	ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】	下地調整モルタル 【新設】
	(R19)	アスファルト防水	アスファルト防水
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・面材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	(R20)	アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
ルーフドレイン	(R21)	ルーフドレイン (傾斜) φ100 挿入 【撤去】 ルーフドレイン (傾斜) φ100 挿入 【撤去】	改修用ルーフドレイン (傾斜) φ100 塩ビ製 【新設】 改修用ルーフドレイン (傾斜) φ100 塩ビ製 【新設】
接合	(R22)	SPP管100φ 接合部 2ヶ所	SPP管100φ 接合部 2ヶ所 : DP塗装 (1層)
大走		コンクリート金コテ押さえ直上 クラック (面積の20%)	コンクリート金コテ押さえ直上 : 高圧水洗浄 水圧20Mpa クラック (面積の20%) Uカットシール充填工法
ボーナ部		組積タイル 100×200	組積タイル 100×200 : 高圧水洗浄 水圧20Mpa
雪面防止フェンス		既存雪面防止フェンス 【撤去】 既存雪面防止フェンス基礎 【撤去】	雪面防止フェンス 【新設】 雪面防止フェンス基礎 【新設】 ウレタン塗膜防水 t=2.0 (X-2) 【新設】
室外機		室外機 (仮設配管共) 【移動】 (外壁改修時)	室外機 (仮設配管共) 【復旧】 (外壁改修時)

凡例
工事範囲外

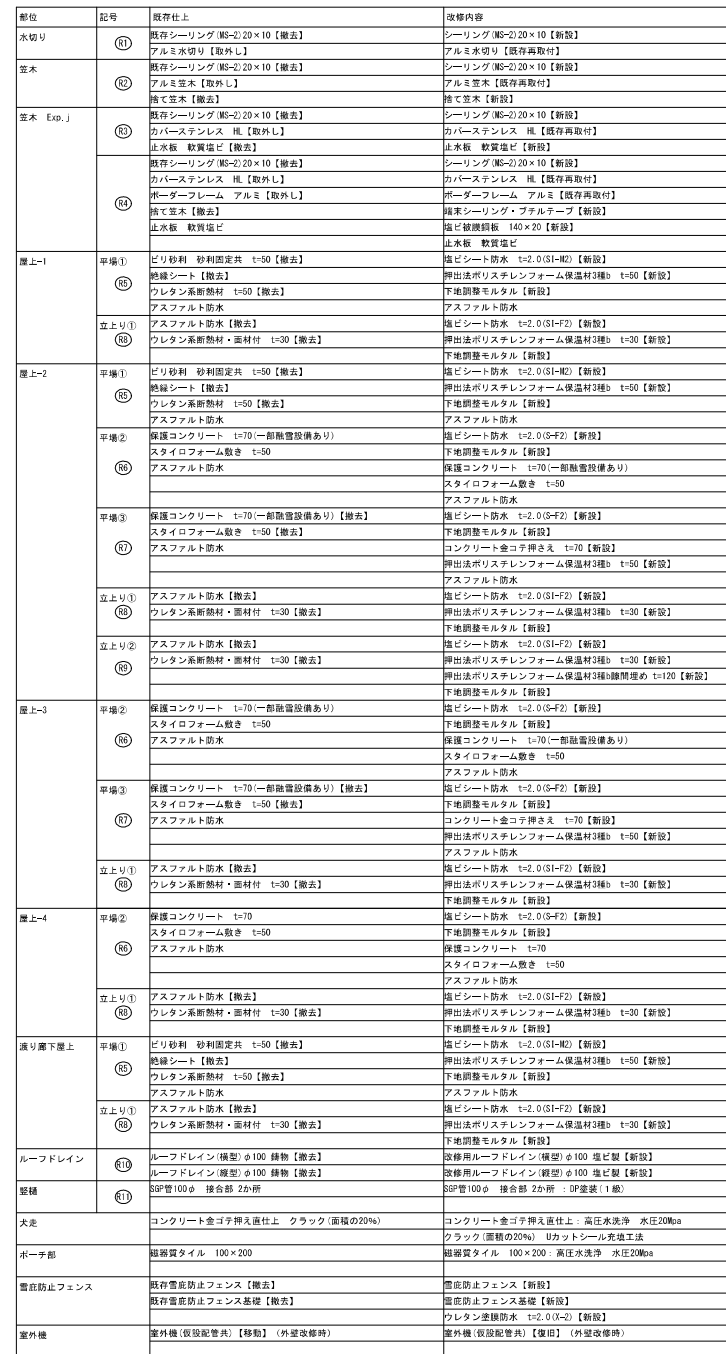


工事範圍外

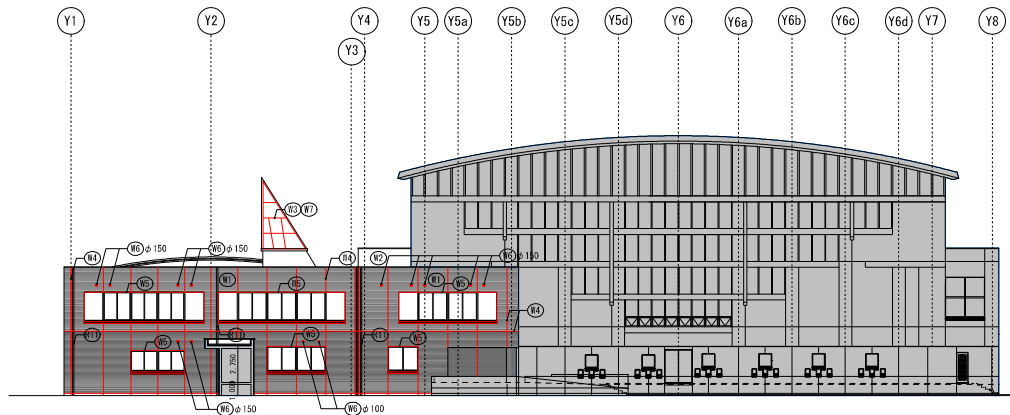


部位	記号	既存仕上	改修内容
水切り	R1	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 アルミ水切り 【取外し】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 アルミ水切り 【既存再取付】
笠木	R2	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 アルミ笠木 【取外し】 捨て笠木 【撤去】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 アルミ笠木 【既存再取付】 捨て笠木 【新設】
笠木 Exp. J	R3	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 カバーステンレス 皿 【取外し】 止水板 軟質塩ビ 【撤去】	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 カバーステンレス 皿 【既存再取付】 止水板 軟質塩ビ 【新設】
	R4	既存シーリング (MS-2) 20×10 【撤去】 カバーステンレス 皿 【取外し】 ボーダーフレーム アルミ 【取外し】 捨て笠木 【撤去】 止水板 軟質塩ビ	シーリング (MS-2) 20×10 【新設】 カバーステンレス 皿 【既存再取付】 ボーダーフレーム アルミ 【既存再取付】 端部シーリング・プルテープ 【新設】 塩ビ被覆鋼板 140×20 【新設】 止水板 軟質塩ビ
	平場①	ゼリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】
	R5	熱線シート 【撤去】 ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】 アスファルト防水	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 アスファルト防水
屋上-1	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	平場②	ゼリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】
	R6	熱線シート 【撤去】 ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】 アスファルト防水	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 アスファルト防水
	平場③	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
屋上-2	平場④	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) 【撤去】 スタイロフォーム敷き t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 コンクリート金コシ押さえ t=70 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 アスファルト防水
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	立上り②	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	平場⑤	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
屋上-3	平場⑥	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) 【撤去】 スタイロフォーム敷き t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 コンクリート金コシ押さえ t=70 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 アスファルト防水
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	平場⑦	保護コンクリート t=70 (一部融雪設備あり) 【撤去】 スタイロフォーム敷き t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 コンクリート金コシ押さえ t=70 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 アスファルト防水
	立上り②	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
屋上-4	平場⑧	保護コンクリート t=70 スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S-F2) 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 保護コンクリート t=70 スタイロフォーム敷き t=50 アスファルト防水
	立上り①	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
	平場⑨	ゼリ砂利 砂利固定床 t=50 【撤去】 熱線シート 【撤去】 ウレタン系断熱材 t=50 【撤去】 アスファルト防水	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-M2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=50 【新設】 下地調整モルタル 【新設】 アスファルト防水
	立上り②	アスファルト防水 【撤去】 ウレタン系断熱材・亜材付 t=30 【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0 (S1-F2) 【新設】 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種 t=30 【新設】 下地調整モルタル 【新設】
ルーフドレン	R10	ルーフドレン (原型) φ100 挿入 【撤去】 ルーフドレン (原型) φ100 挿入 【撤去】	改修用ルーフドレン (原型) φ100 塩ビ製 【新設】 改修用ルーフドレン (原型) φ100 塩ビ製 【新設】
接合	R11	SPP管100φ 接合部 2ヶ所	SPP管100φ 接合部 2ヶ所 : DP塗装 (1層)
大走		コンクリート金コシ押さえ直仕上 クラック (面積の20%)	コンクリート金コシ押さえ直仕上 : 高圧水洗浄 水圧20Mpa クラック (面積の20%) : Uカットシール充填工法
ホーチ部		珪藻質タイル 100×200	珪藻質タイル 100×200 : 高圧水洗浄 水圧20Mpa
雪庇防止フェンス		既存雪庇防止フェンス 【撤去】 既存雪庇防止フェンス基礎 【撤去】	雪庇防止フェンス 【新設】 雪庇防止フェンス基礎 【新設】
室外機		室外機 (仮設配管共) 【移動】 (外壁改修時)	室外機 (仮設配管共) 【復旧】 (外壁改修時)

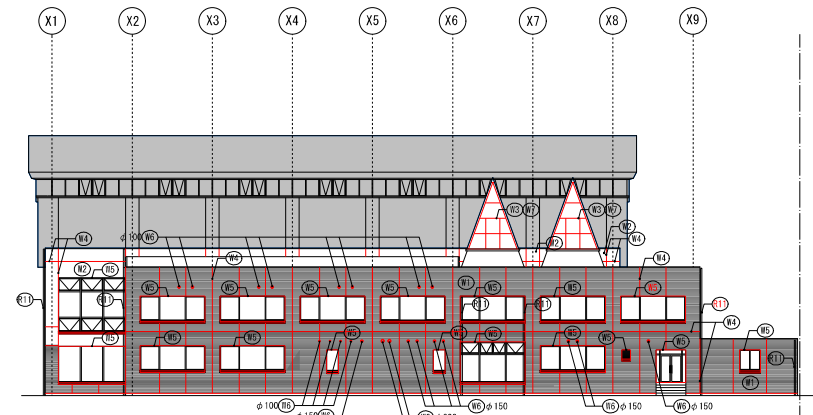
凡例
工事範囲外 R6 (平場②) の工事範囲 R7 (平場③) の工事範囲



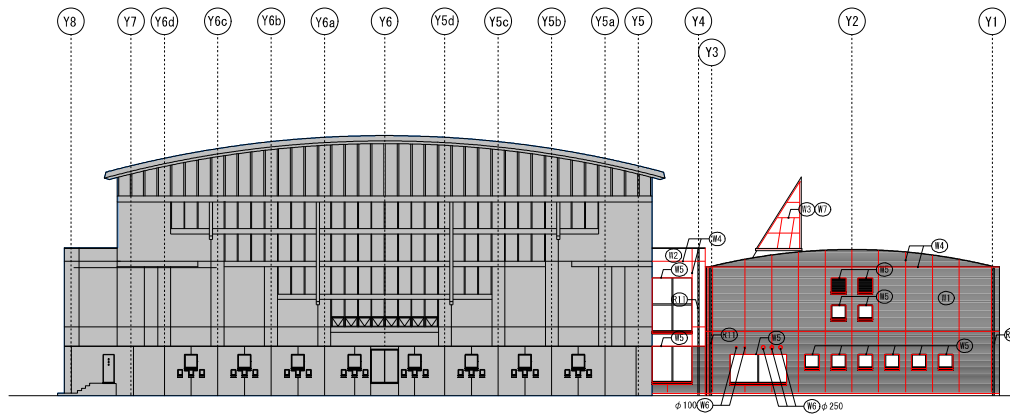
工事範囲外 屋上-2.3.4 ㊟ (平場②) の工事範囲 屋上-2.3 ㊟ (平場③) の工事範囲



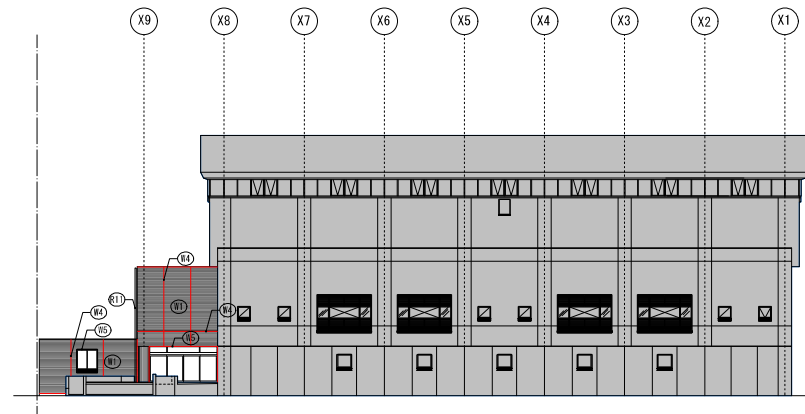
東面立面図 S:1/200



南面立面図 S:1/200



西面立面図 S:1/200



北面立面図 S:1/200

部位	記号	既存仕上	改修内容
窓組	⑪	SP管100φ 接合部 2か所	SP管100φ 接合部 2か所 : DP塗装(1機)
特殊レンガブロックパネル部	⑪	特殊レンガブロックパネル 210×65 t=52.5 (S1B工法) : クラック・欠損タイル部分(外壁面積の20%)【撤去】	特殊レンガブロックパネル 210×65 : 高圧水洗浄 水圧30Mpa クラック・欠損タイル部分(外壁面積の20%) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 光触媒コーティング剤吹付【新設】
コンクリート打放部	⑫	コンクリート打放部 : クラック部分(外壁面積の20%)	コンクリート打放部 : 高圧水洗浄 水圧30Mpa クラック部分(外壁面積の20%) 高浸透形殺水防止コンクリート打放し工法の上、 光触媒コーティング剤吹付【新設】
開口部(サッシュ・ガラス)	⑬	開口部	開口部 : 高圧水洗浄 水圧20Mpa

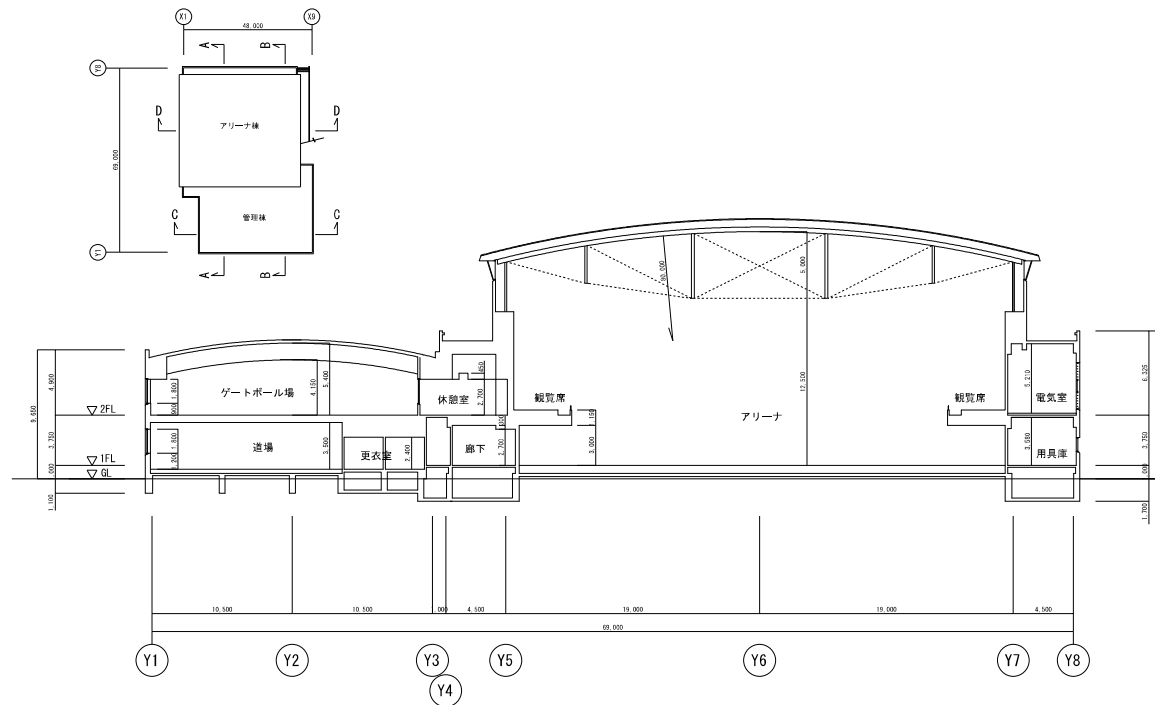
凡例

工事範囲外 特殊レンガブロックパネル部の工事範囲 シーリング打替え

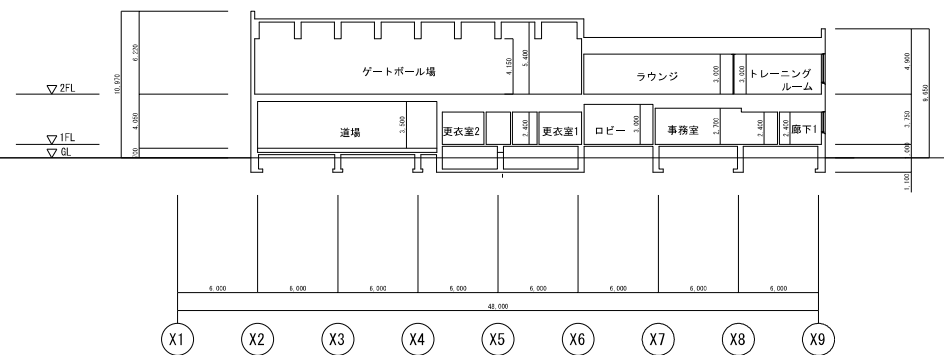
部位	記号	改修内容【撤去含む】	改修内容【新設含む】
外壁目地シーリング	⑭	伸縮調整目地・打替目地 : 既存シーリング(PU-2)20×10【撤去】	伸縮調整目地・打替目地 : シーリング(PU-2)20×10【新設】
	⑮	※一部目地寸法は詳細図より指示 既存サッシ廻りシーリング(WS-2)25×15【撤去】	※一部目地寸法は詳細図より指示 サッシ廻りシーリング(WS-2)25×15【新設】
	⑯	既存サッシ廻りダキシーリング(WS-2)25×15【撤去】	サッシ廻りダキシーリング(WS-2)25×15【新設】
	⑰	既存サッシ水切シーリング(WS-2)15×10【撤去】	サッシ水切シーリング(WS-2)15×10【新設】
	⑱	給排水設備廻り : 既存シーリング(WS-2)20×10【撤去】	給排水設備廻り : シーリング(WS-2)20×10【新設】
	⑲	φ100 : 16か所、φ150 : 19か所、φ200 : 2か所、φ250 : 3か所	φ100 : 16か所、φ150 : 19か所、φ200 : 2か所、φ250 : 3か所
	⑳	既存トップライト水切シーリング(SR-1)20×10【撤去】	トップライト水切シーリング(SR-1)20×10【新設】
	㉑	既存トップライトフレームシーリング(SR-1)20×20【撤去】	トップライトフレームシーリング(SR-1)20×20【新設】
	㉒	軒天目地 : 既存シーリング(WS-2)15×10【撤去】	軒天目地 : シーリング(WS-2)15×10【新設】

※外壁面

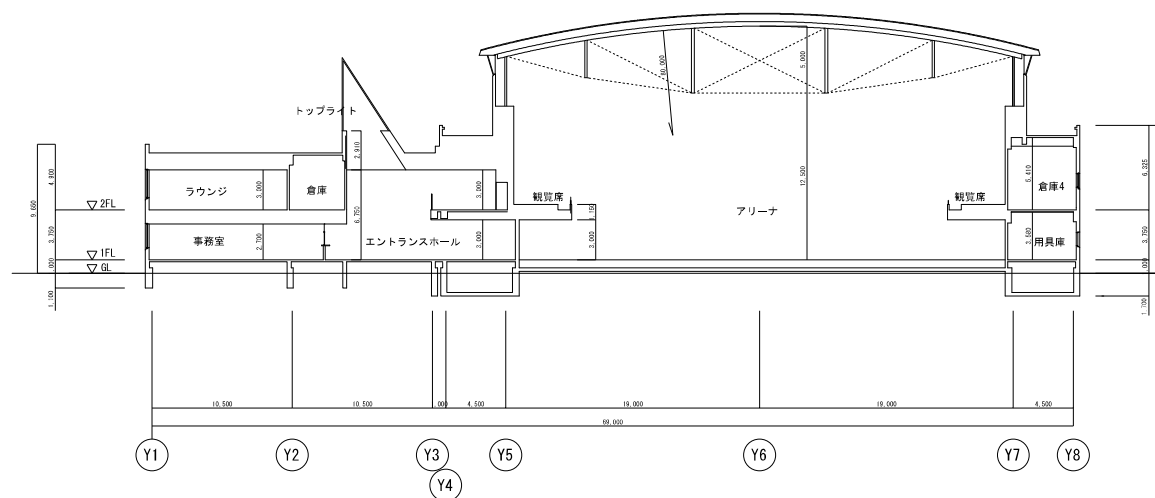
工事に先立ち施工数量調査を行うこと。



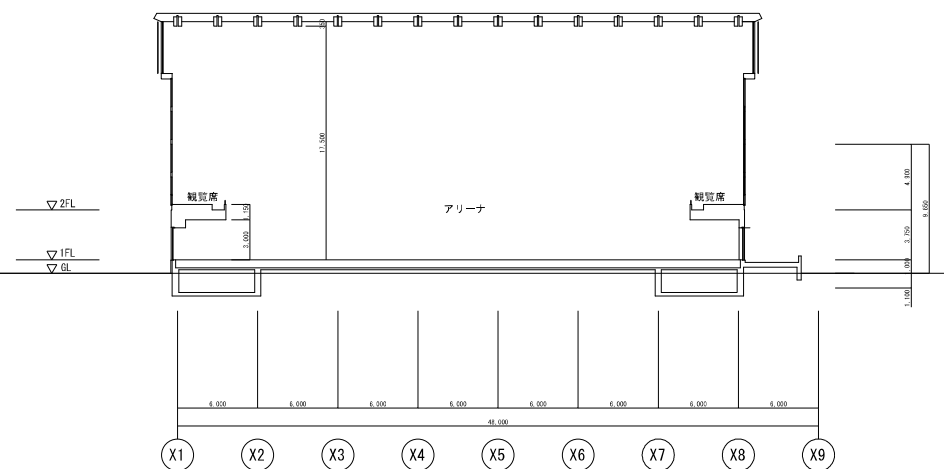
A-A 断面図



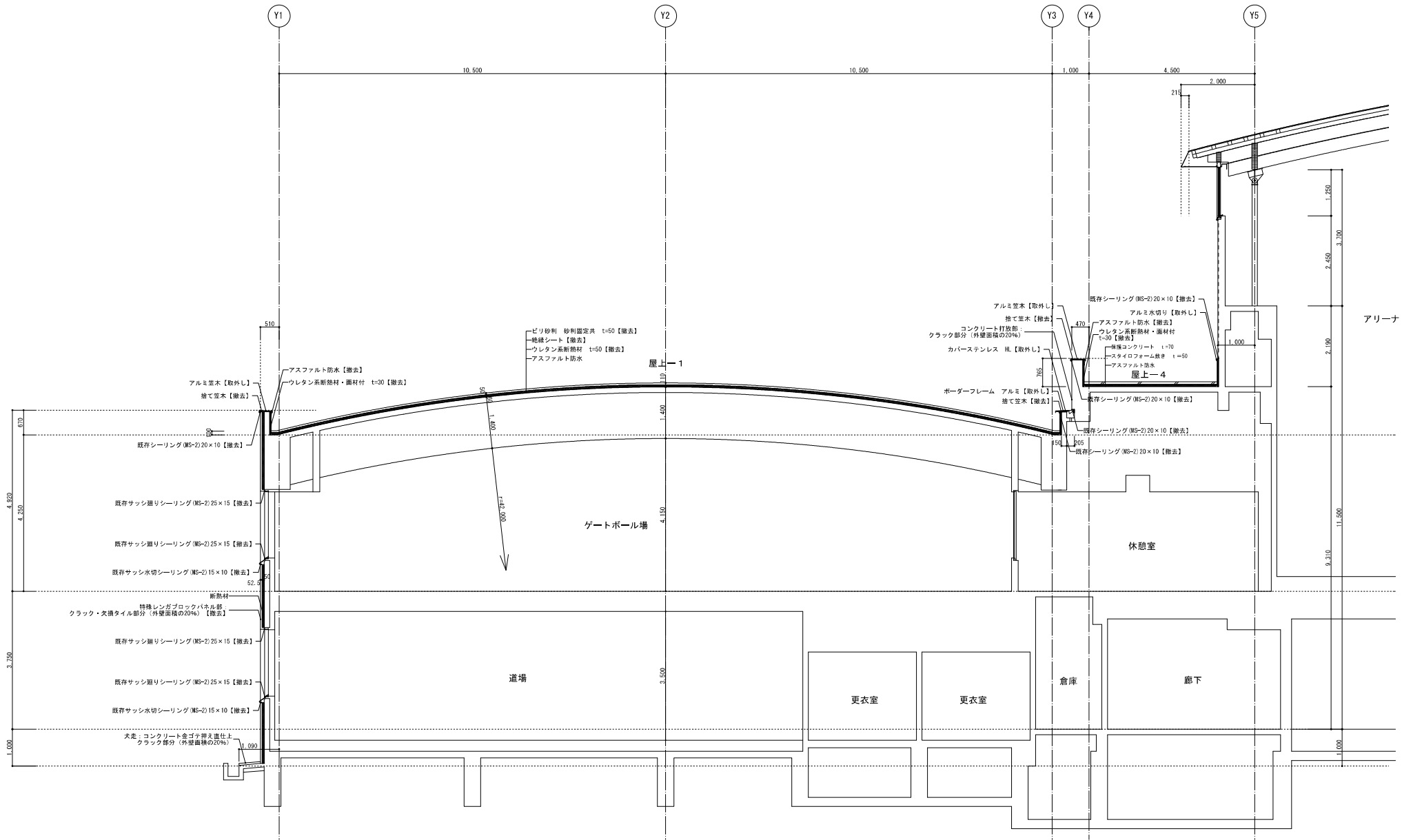
C-C 断面図

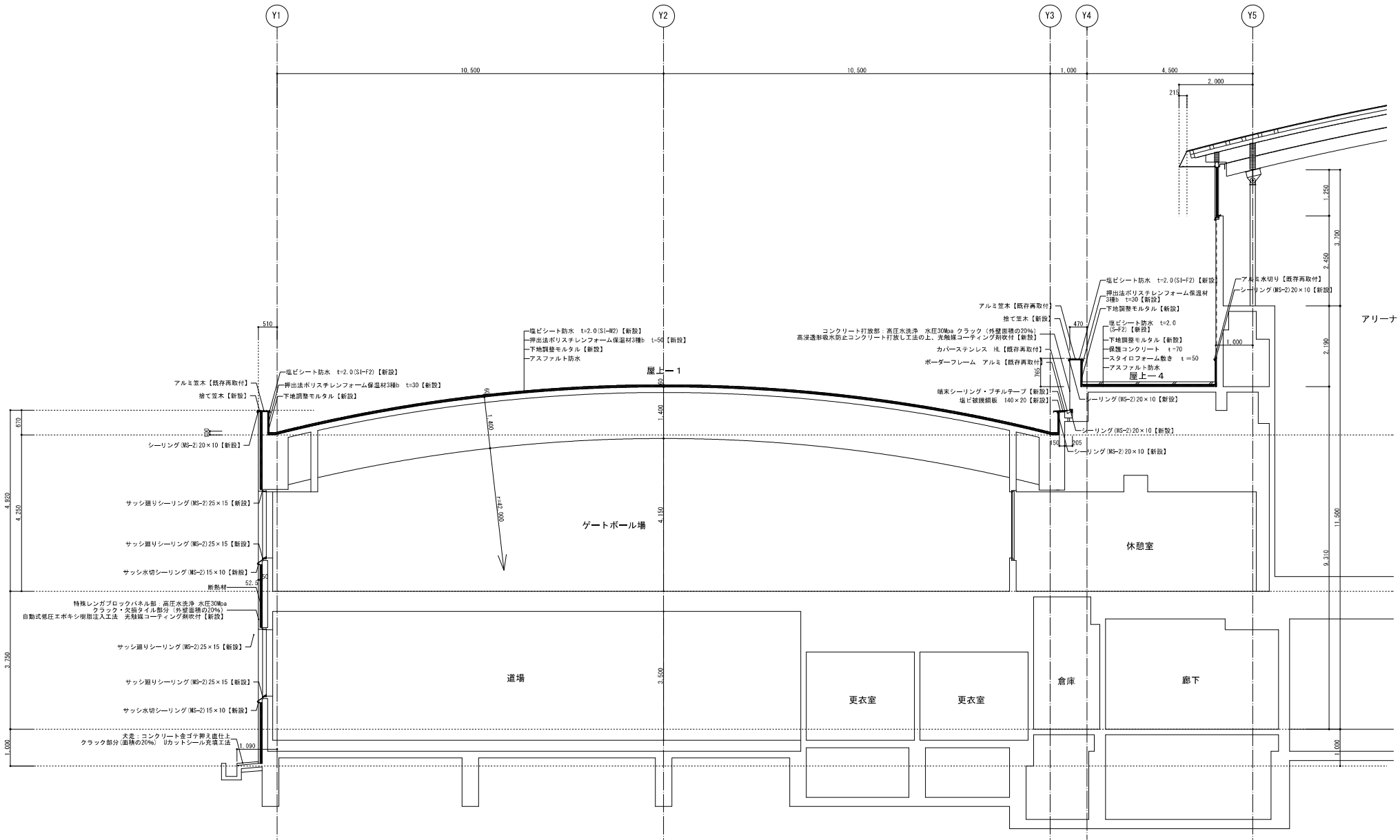


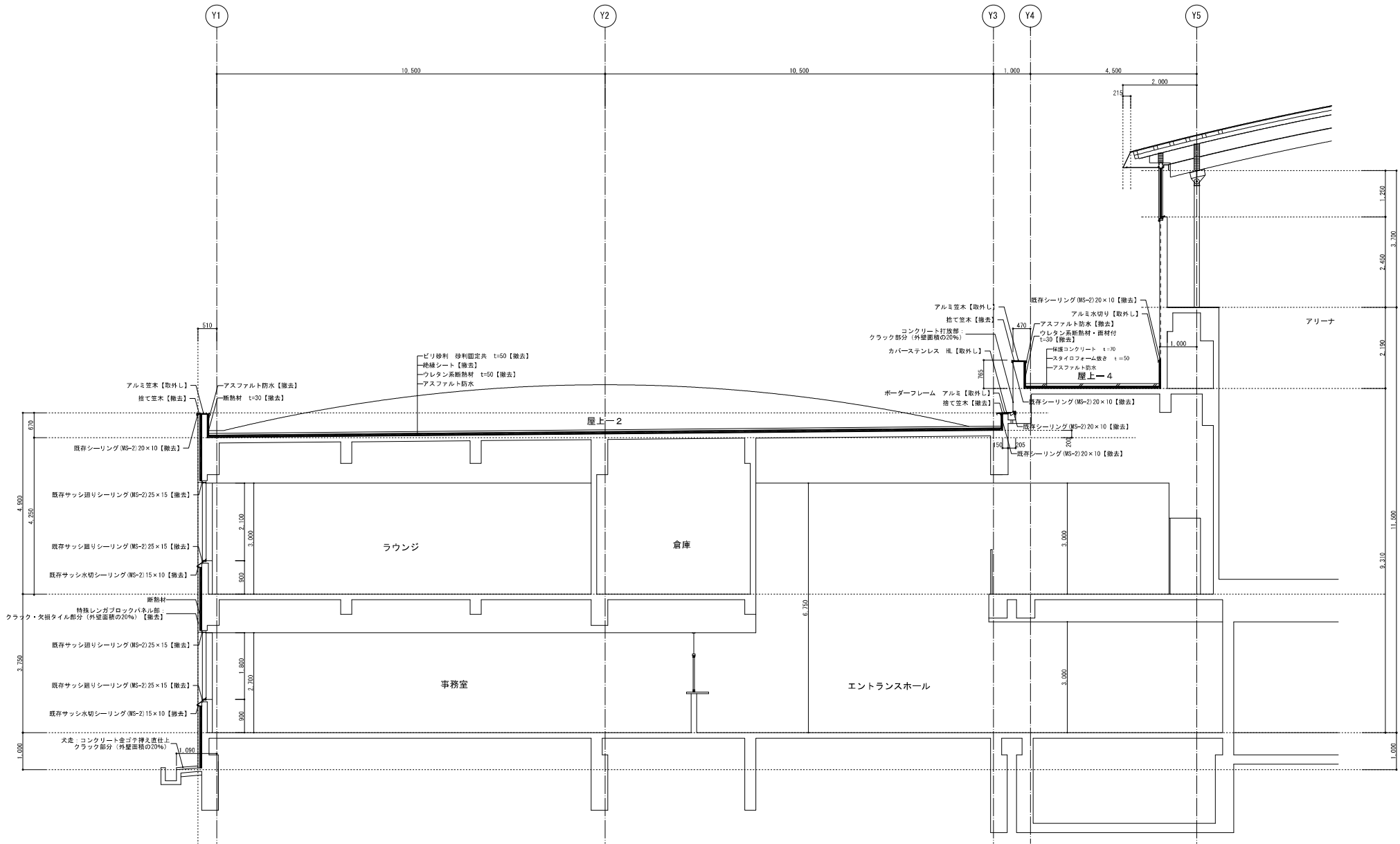
B-B 断面図

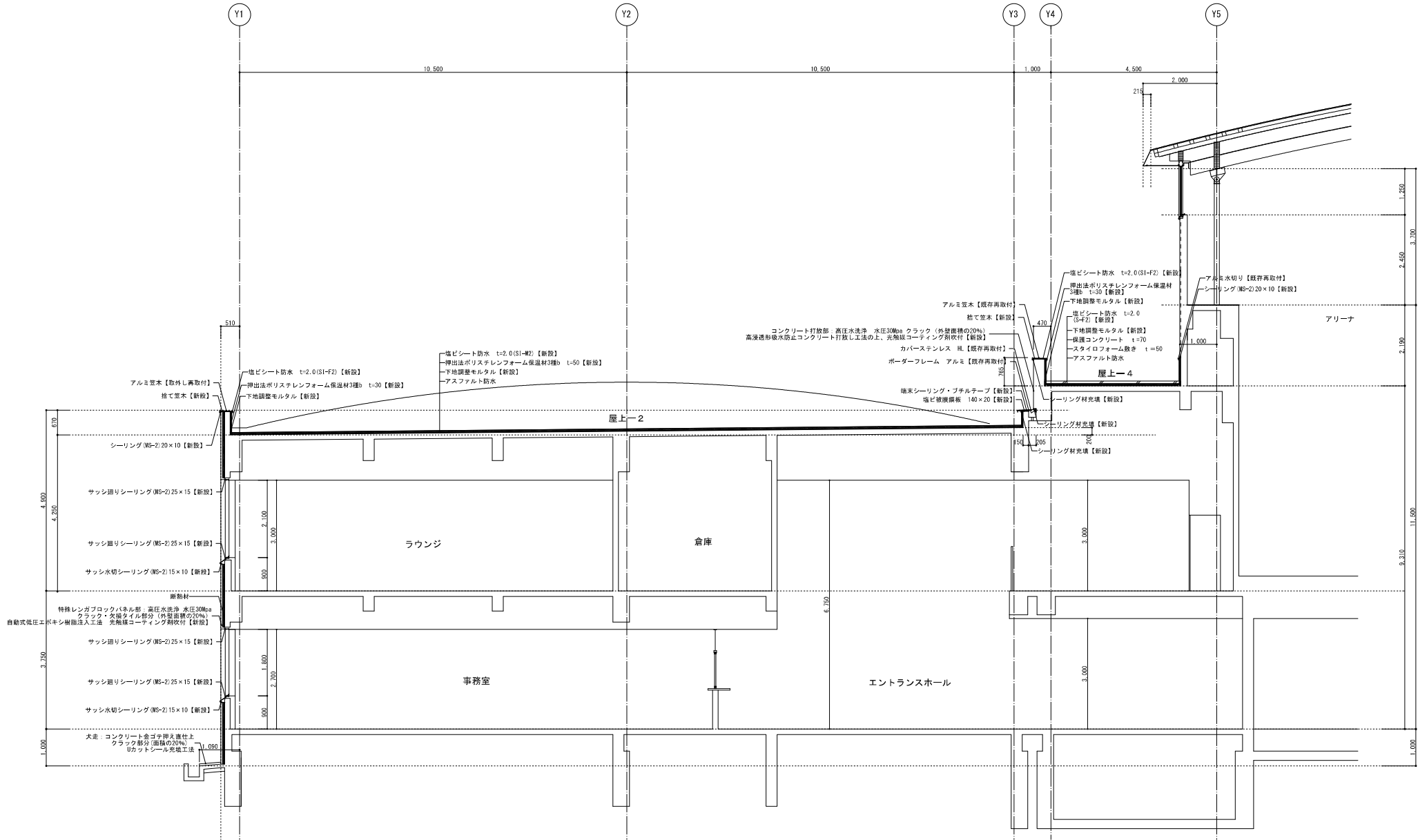


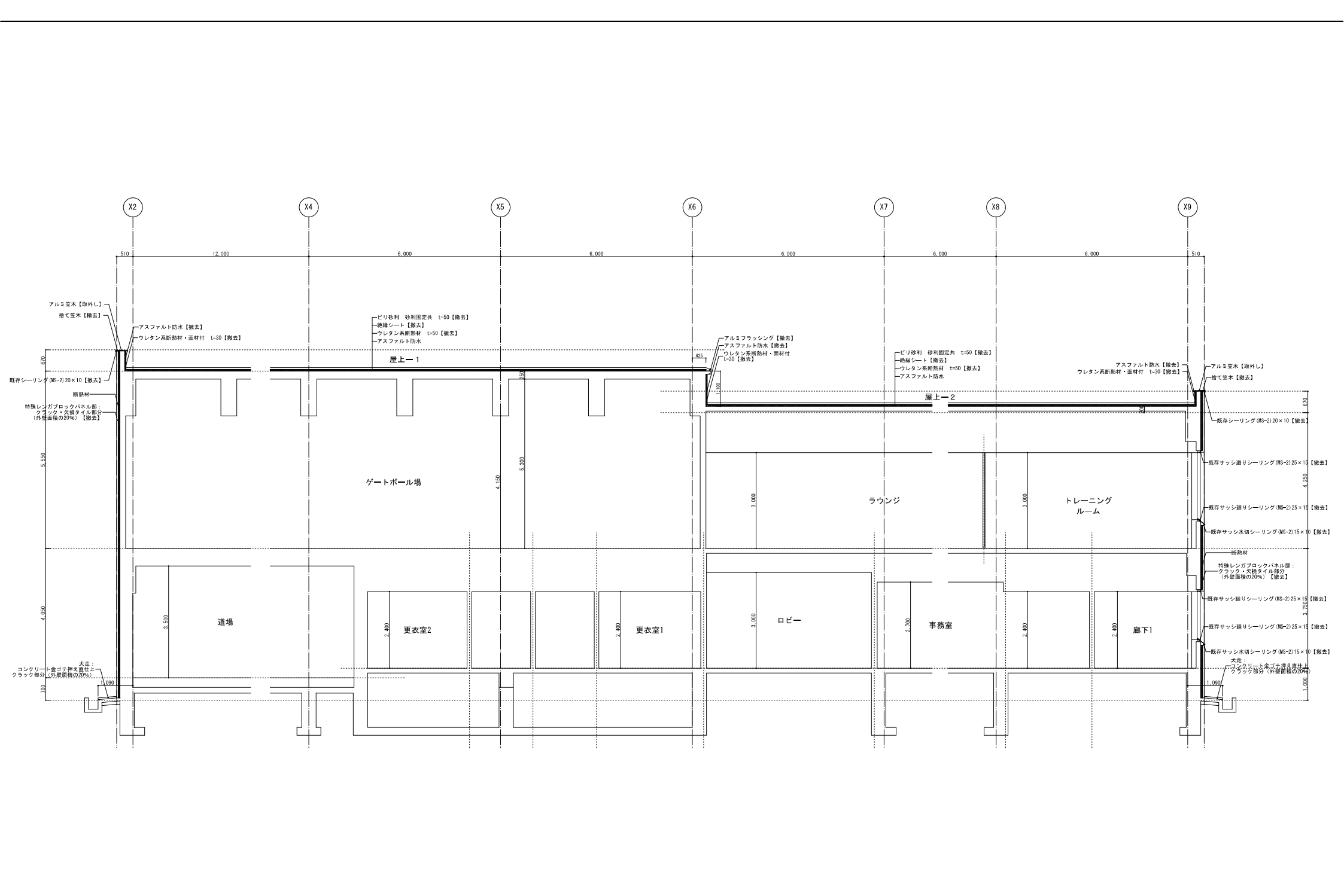
D-D 断面図

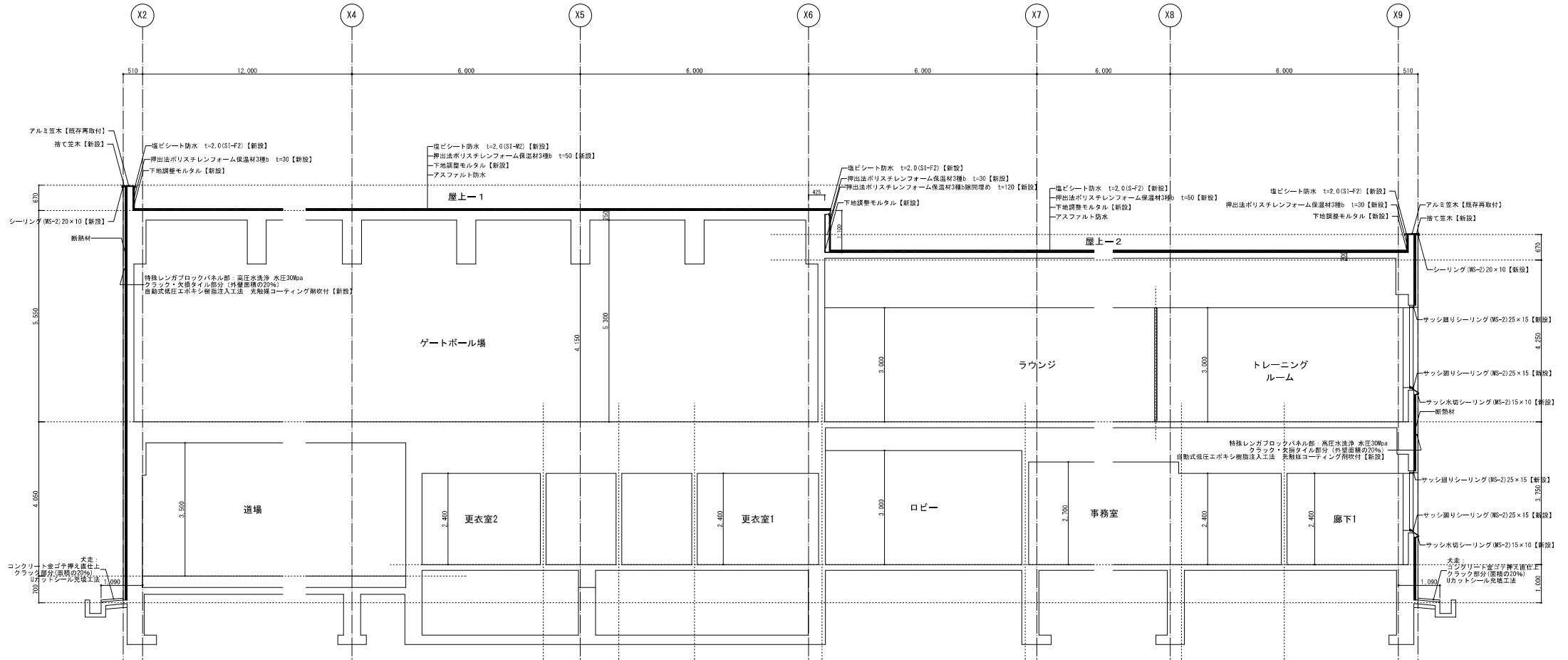


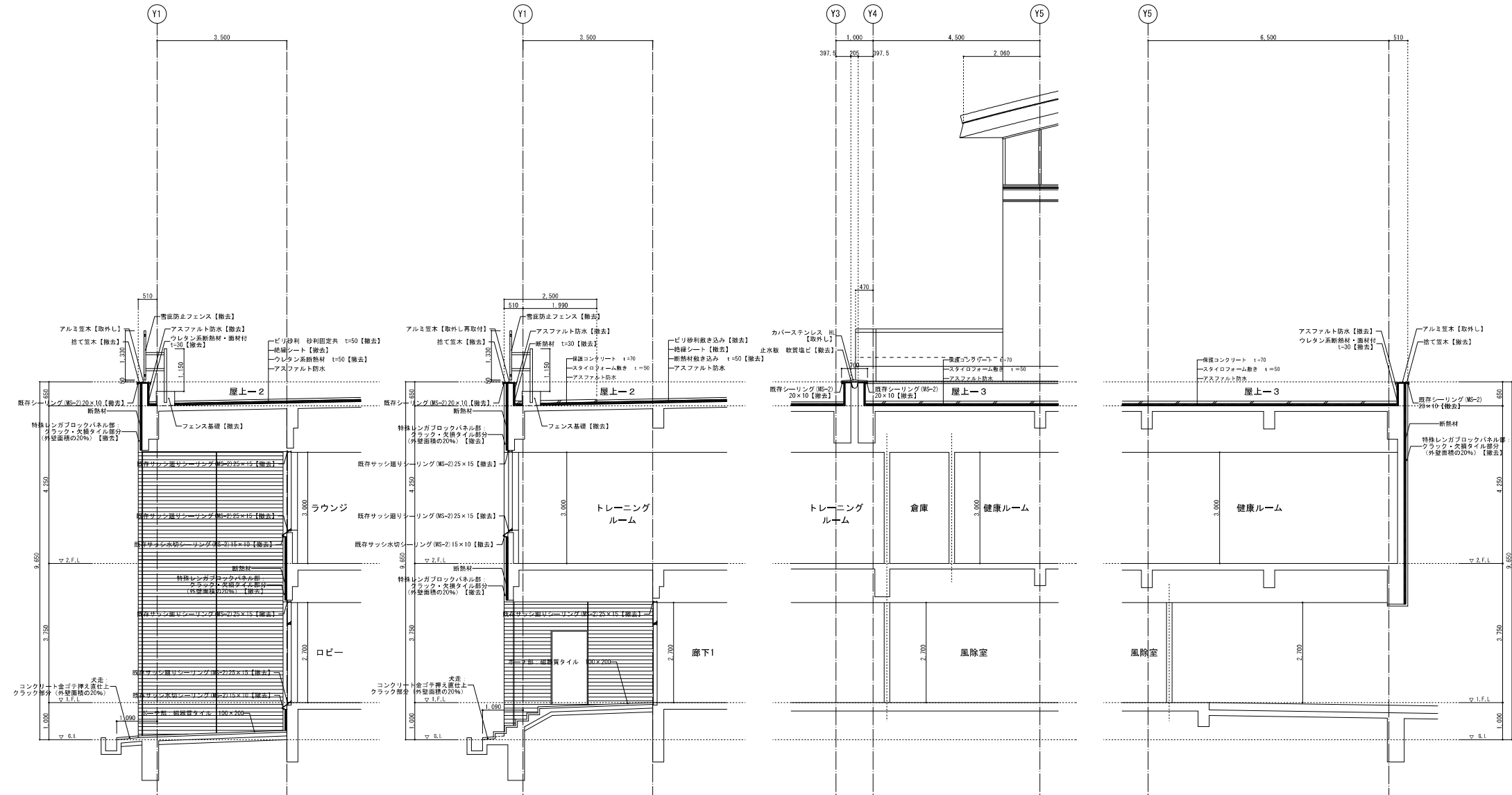


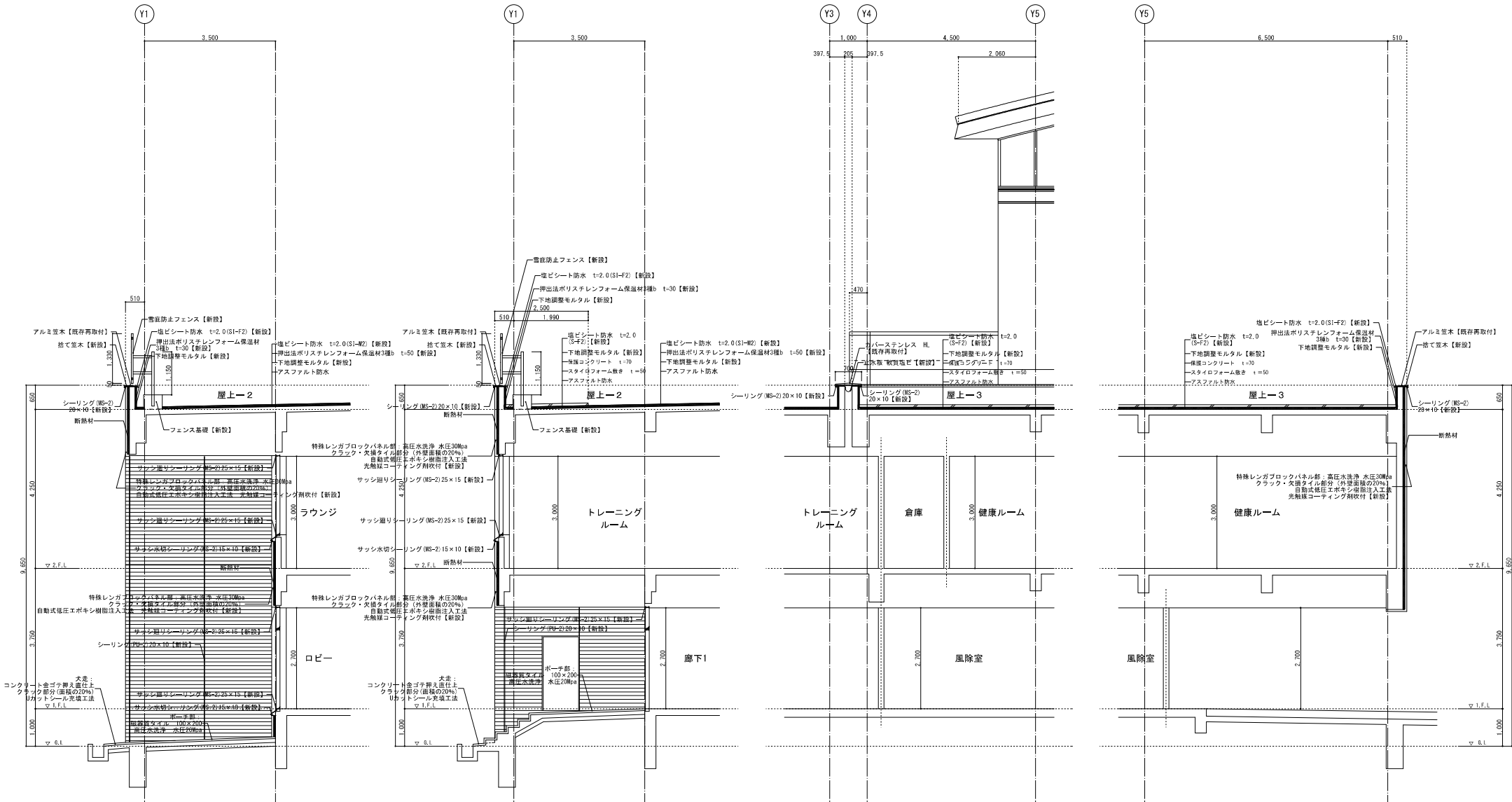


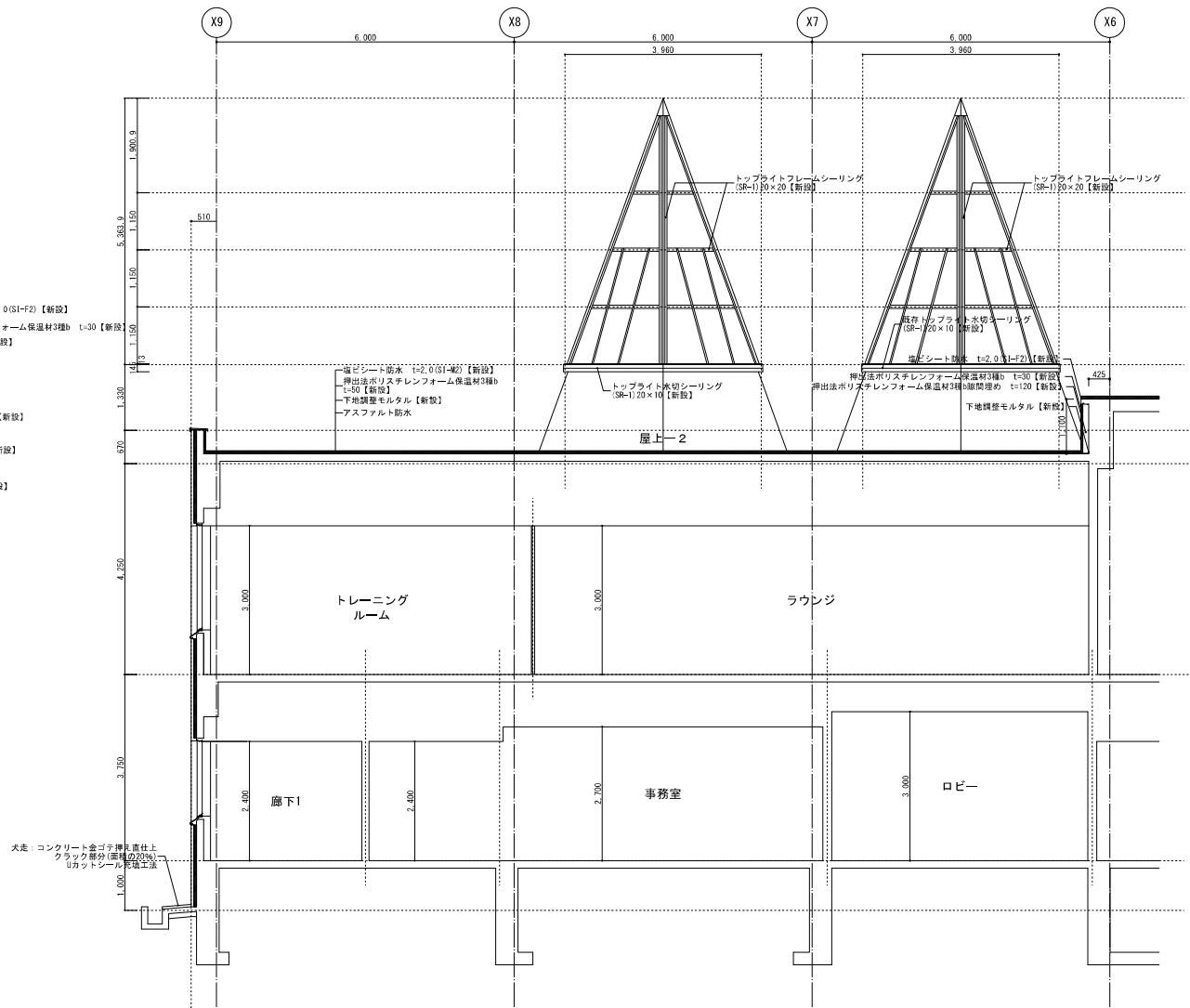
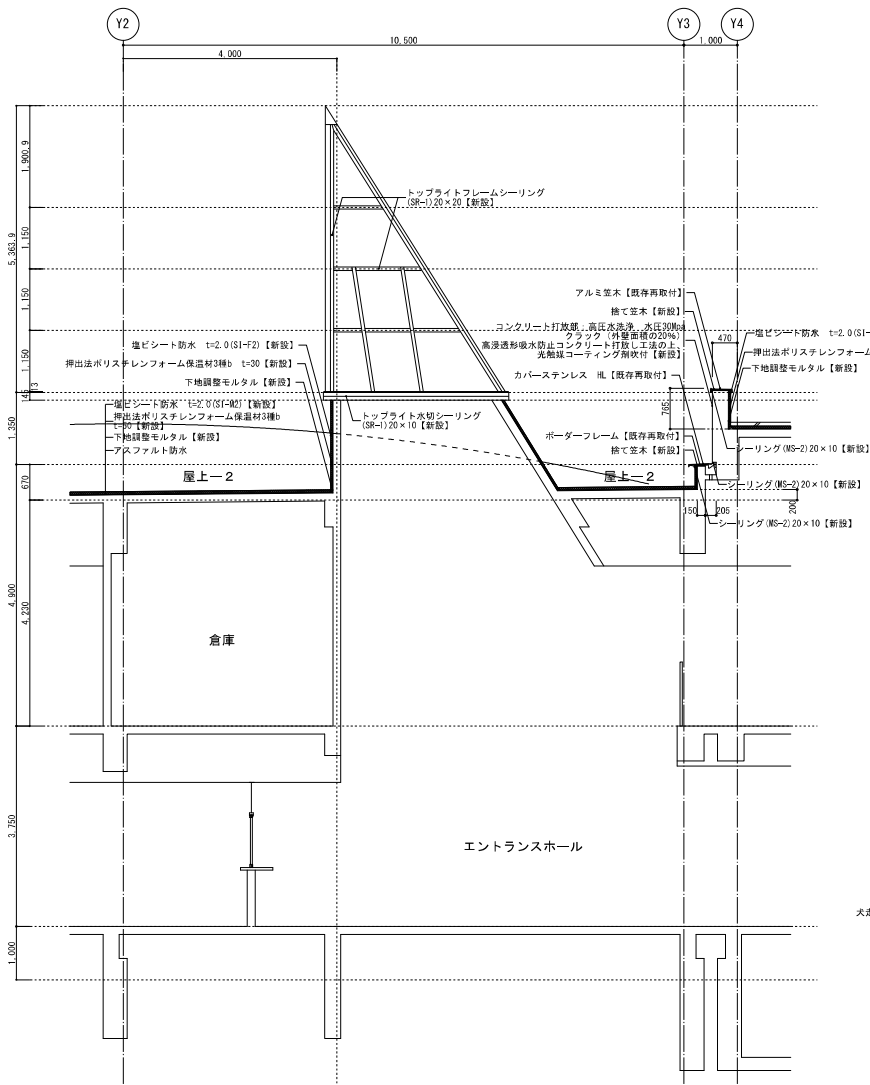












一級建築士事務所
株式会社

基 設 計

住 所 〒650-0916 和歌山県和歌山市下日3番11号
TEL 023-245-0316 FAX 023-247-0308
管理建築士 一級建築士登録第14555号 横井 新夫

工 事 名 称
図 面 名 称

令8現単生工第1号 堀之内体育館管理棟外部改修工事
改修後 断面詳細図 5

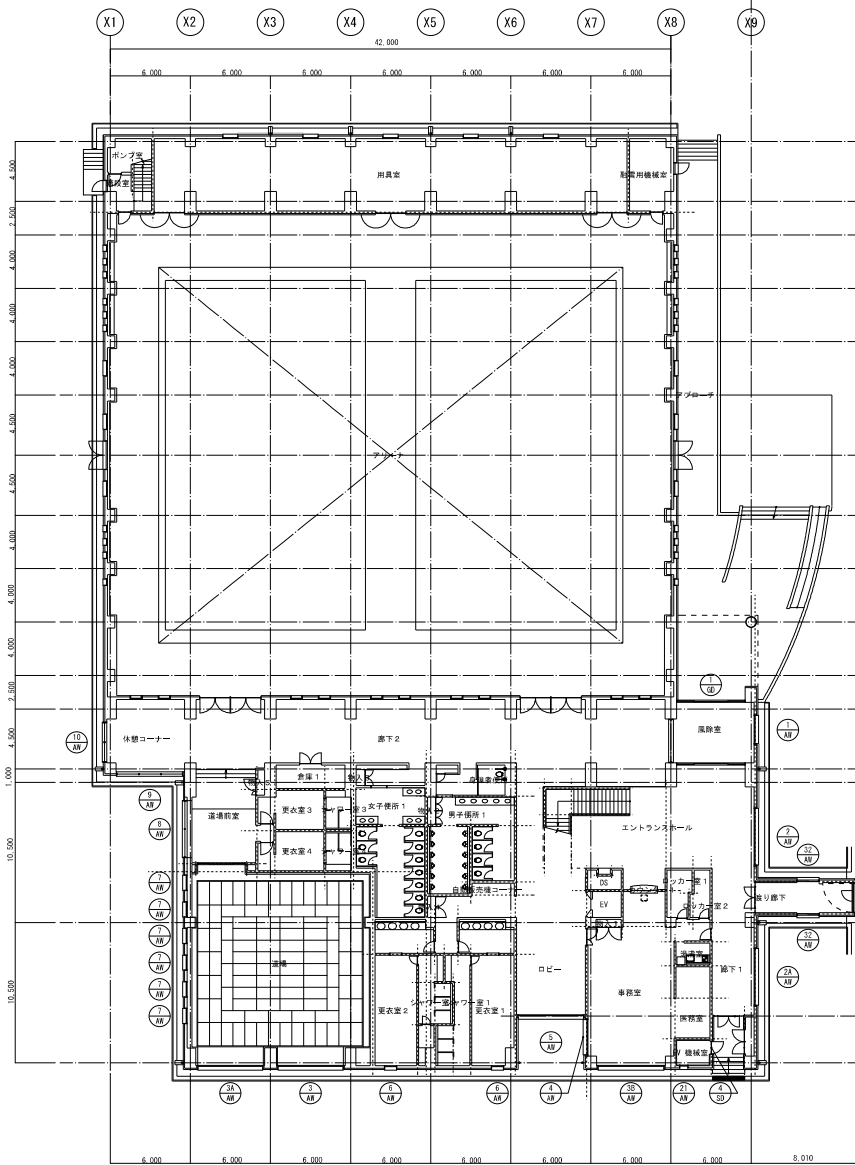
縮 尺
A1 1 : 50
A3 1 : 100

設 計 番 号
2025 - 6 - A

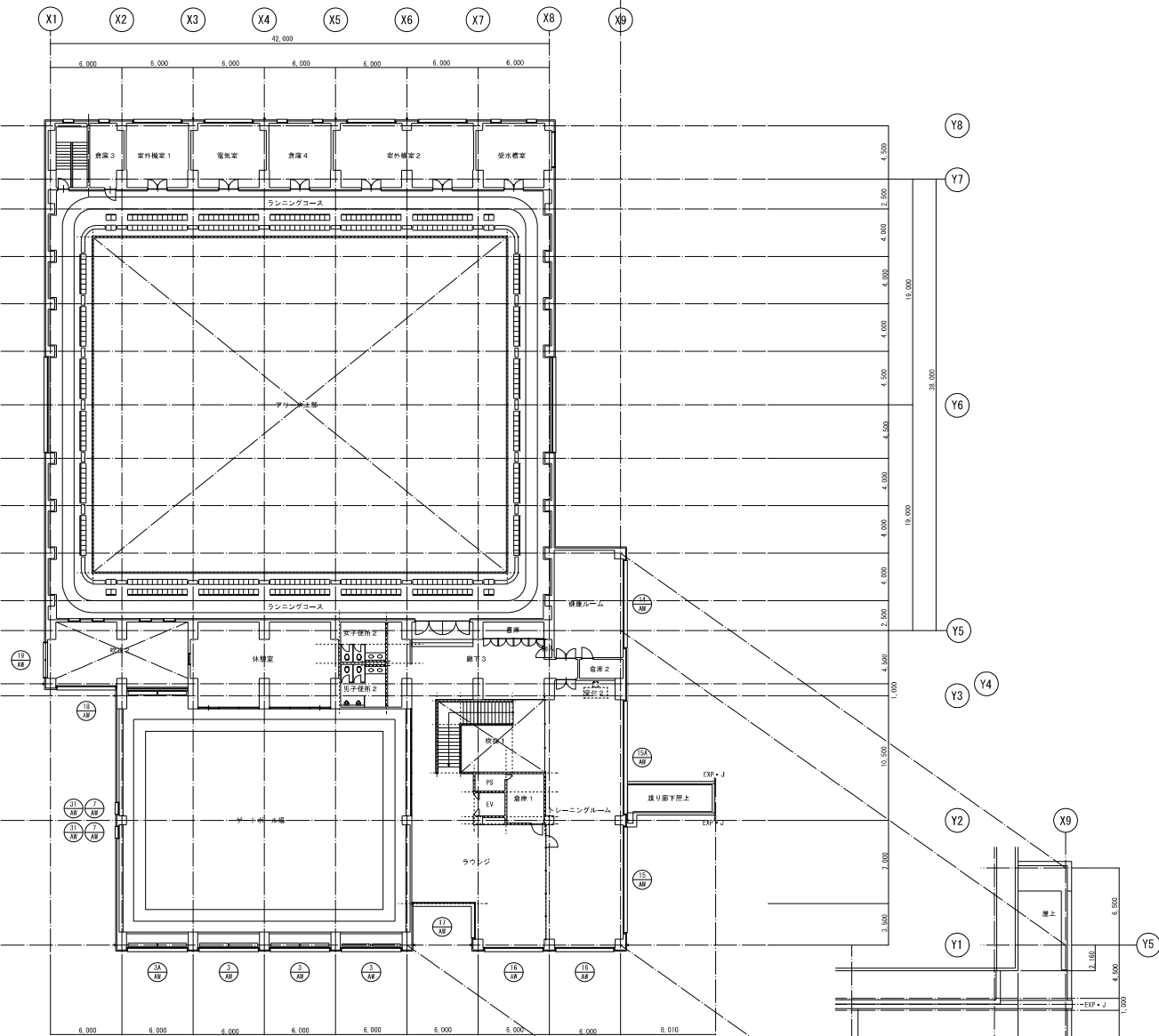
代表設計者 一級建築士登録第329455号 小堀 公治
設計者 一級建築士登録第329455号 小堀 公治

確認 相 当 作 図
作成 年月日 令和8年1月

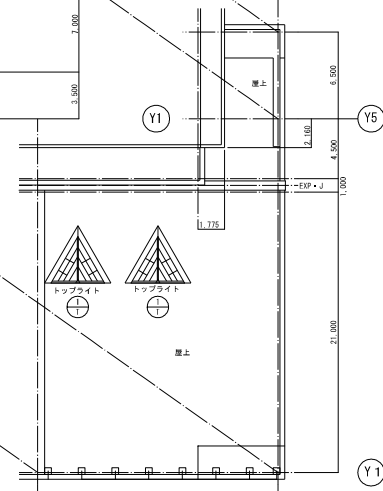
図 面 番 号
A - 2 4



1階建具キープラン



2階建具キープラン



屋上建具キープラン

既存鋼製建具改修内容

記号・場所	① 13A	② 13B	③ 13C	④ 13D	⑤ 13E	⑥ 13F	⑦ 13G	⑧ 13H
形式・数量	引き違い窓 1	引き違い二連窓 1+1	両内引き窓 4+2+1	片内引き窓 1	ランマ枠無し付FIX三連窓 1	FIX窓 2		
寸法図								
材質・見込	アルミ（ブロンズ）	100			アルミ（ブロンズ）	100		
窓枠・ガラス	アルミ（ブロンズ）	FL 9t			複層 9+9t	FL 9t		F 4t
枠材	アルミ（ブロンズ）				アルミ（ブロンズ）			
金物	クレセント錠		と両仕様			ワイヤ紗網設置一式		と両仕様
備考	水切 アルミ加工	は（ ）寸法	事務所のみ 複層硝子 5+5	は（ ）寸法	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工		

記号・場所	① 13A	② 13B	③ 13C	④ 13D	⑤ 13E	⑥ 13F	⑦ 13G	⑧ 13H
形式・数量	ヒリ出し窓 8	FIX硝子 1	FIX硝子 1	FIX硝子 1	FIX硝子 1	FIX硝子 1	FIX硝子 1	FIX硝子 1
寸法図								
材質・見込	アルミ（ブロンズ）	100	アルミ（ブロンズ）	100	アルミ（ブロンズ）	100	アルミ（ブロンズ）	100
窓枠・ガラス	アルミ（ブロンズ）	FL 4t	アルミ（ブロンズ）	FL 4t	アルミ（ブロンズ）	FL 4t	アルミ（ブロンズ）	FL 4t
枠材	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）	アルミ（ブロンズ）
金物	カムラッチハンドル あがり止めスパー							
備考	水切 アルミ加工 用具庫はF4t	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工	水切 アルミ加工

記号・場所	① 13A	② 13B	③ 13C	④ 13D	⑤ 13E	⑥ 13F	⑦ 13G	⑧ 13H
形式・数量	FIX付引き違い二連窓 1	FIX付引き違い三連窓 1+1	両内引き窓 2	両内引き窓 1	両内引き窓 1	両内引き窓 1	両内引き窓 1	両内引き窓 1
寸法図								
材質・見込								
窓枠・ガラス								
枠材								
金物	と両仕様	と両仕様	と両仕様	と両仕様	と両仕様	と両仕様	と両仕様	と両仕様
備考		は（ ）寸法	は（ ）寸法	は（ ）寸法	は（ ）寸法	は（ ）寸法	は（ ）寸法	は（ ）寸法

記号・場所								
形式・数量								
寸法図								
材質・見込								
窓枠・ガラス								
枠材								
金物								
備考								

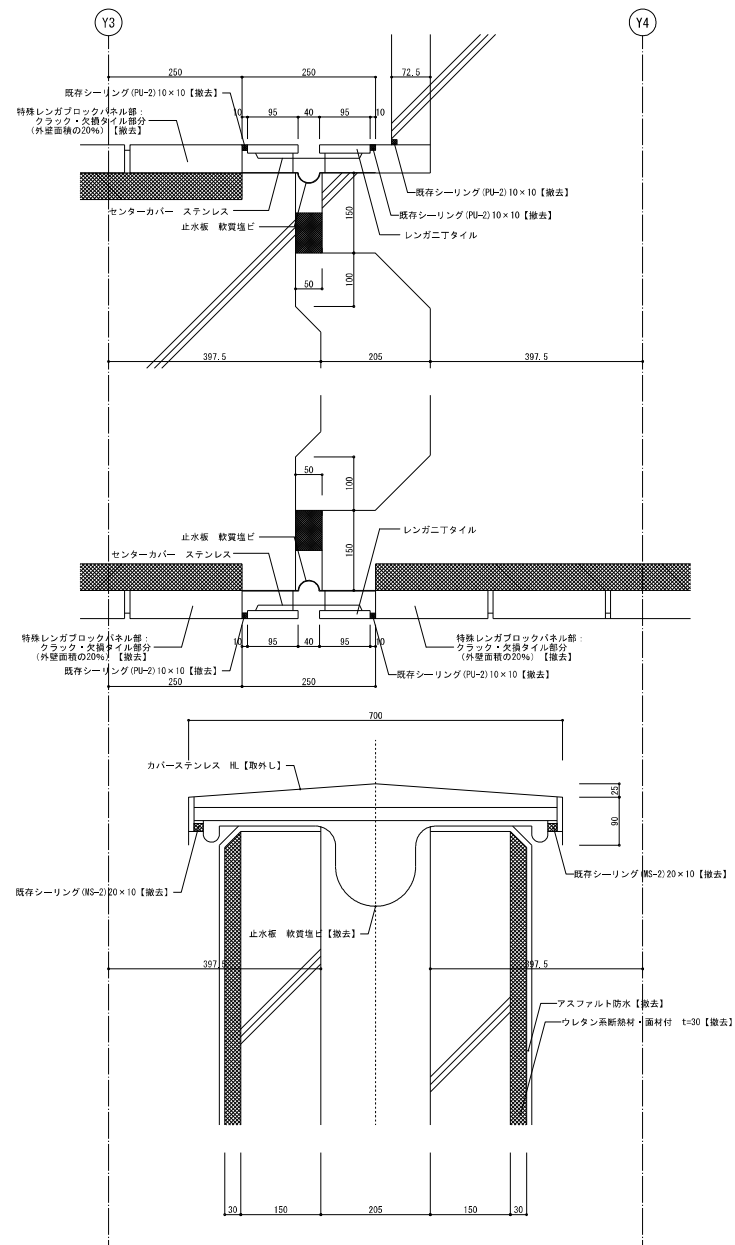
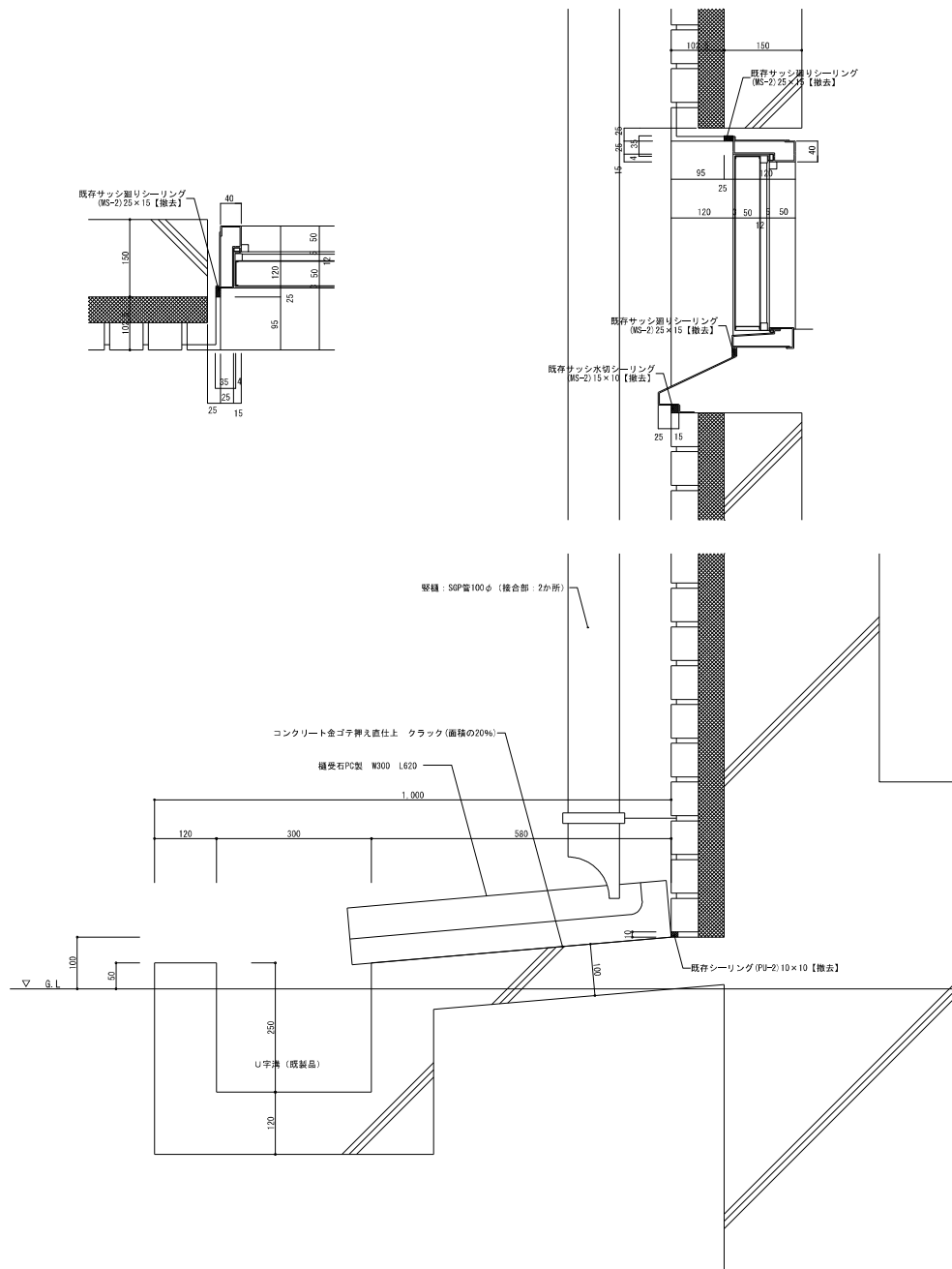
凡例	サッシシーリング種類：サッシ廻りシーリング装置 (W-2) 25×15、サッシ据りダキシーリング装置 (W-2) 25×15、サッシ水切シーリング装置 (W-2) 15×10、トップライトシーリング別記 鋼製縦長窓枠、下地処理、断熱材、断熱材（1層）
----	--

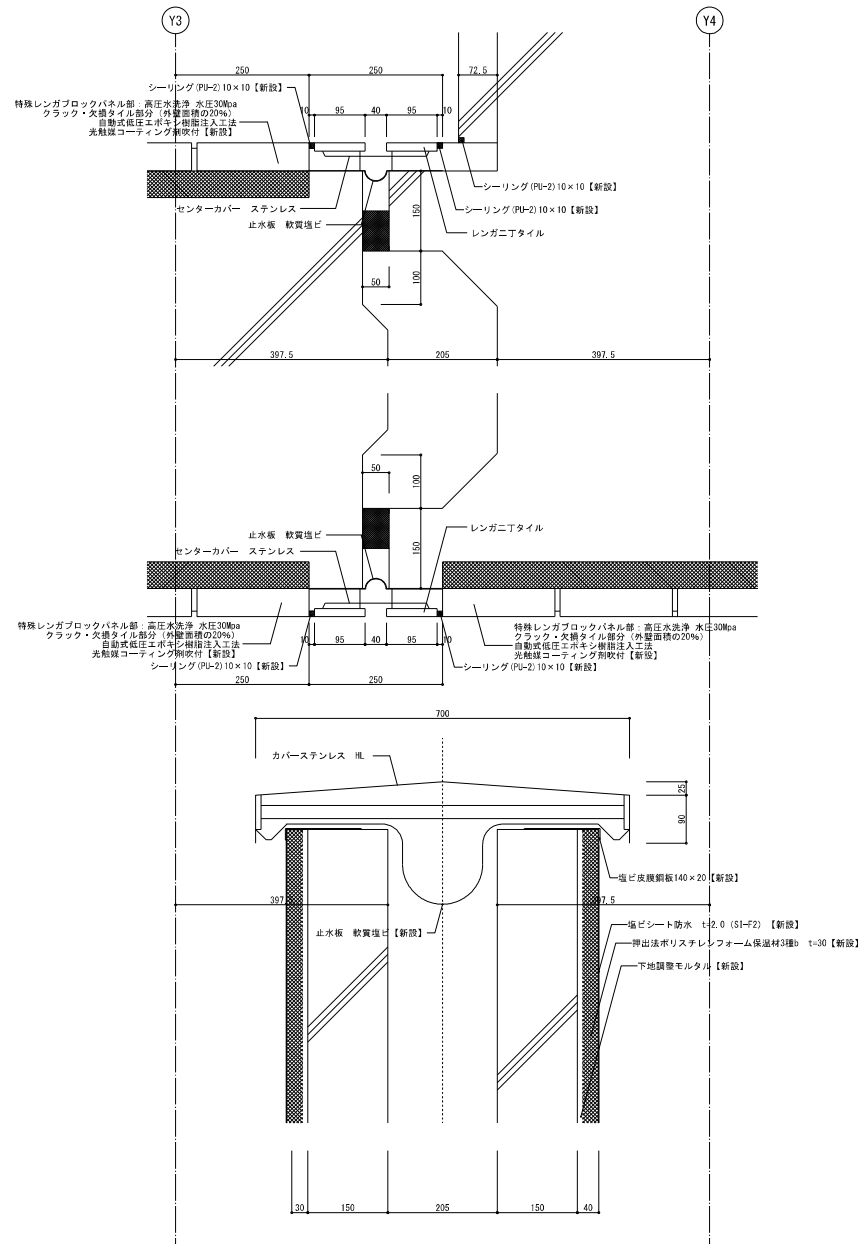
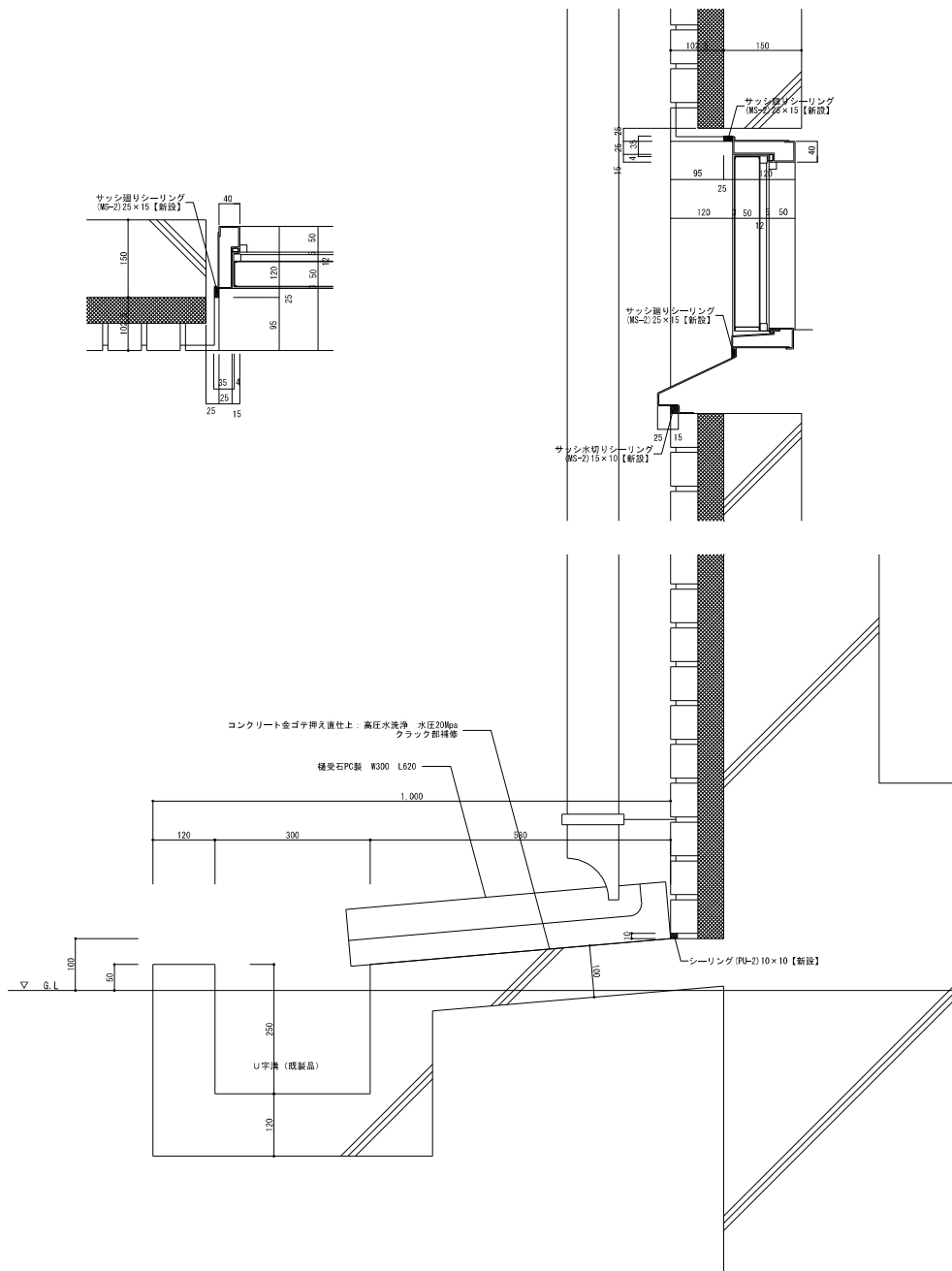
記号・場所	⑩ 窓	収容2	⑩ 窓	収容2
形式・数量	FIX断子・修繕外窓	1	FIX断子	1
寸法図	シーリング打替え		シーリング打替え	
材質・長さ	アルミ (グレイ)	100	アルミ (グレイ)	100
窓枠・ガラス	FL 5t-6t		FL 6t	
枠材	アルミ (グレイ)		アルミ (グレイ)	
金物	ワイヤー修繕装置一式 (手動 確込)			
備考	補強タイプ		補強タイプ	

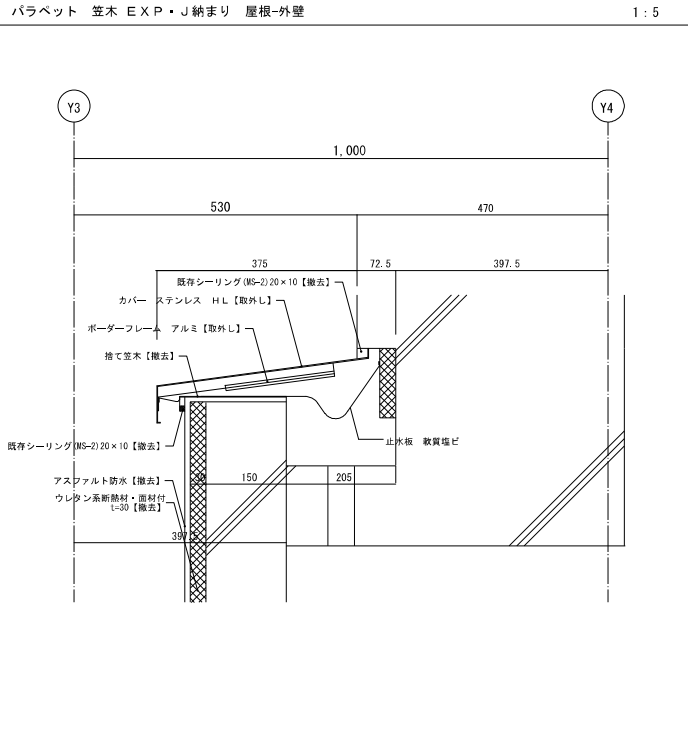
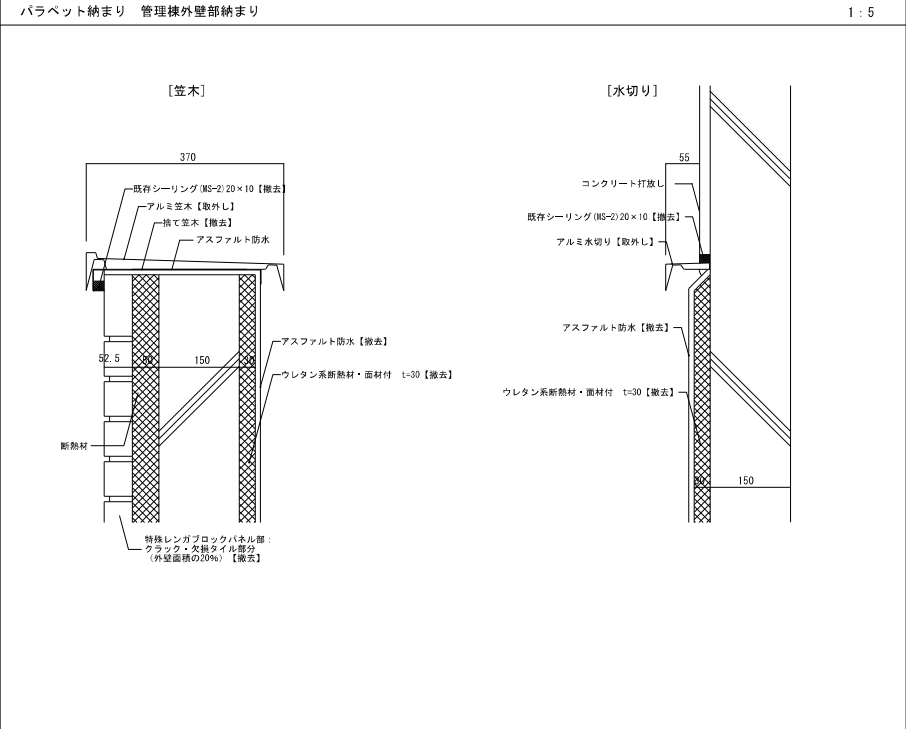
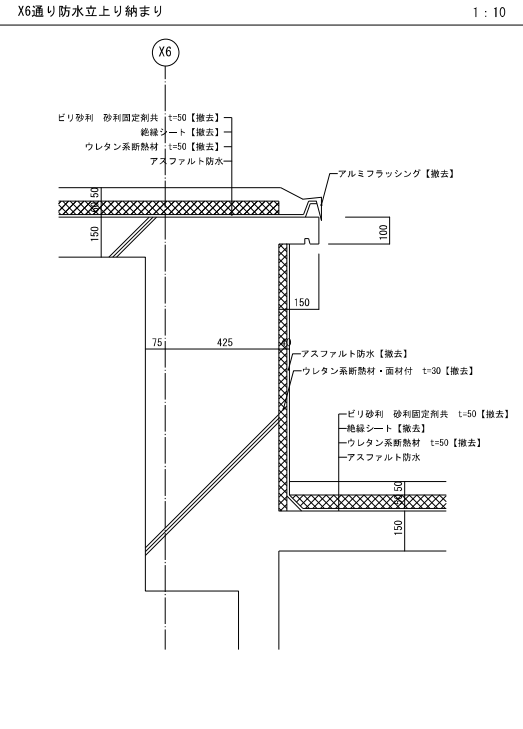
記号・場所	⑩ 窓	EV機械室	⑩ 窓	ケートホール増	⑩ 窓	エントランスホール	⑩ 窓	渡り廊下
形式・数量	ガラリ窓	1	固定ガラリ、外側窓	2	トップライト縁窓	2	引違い 扉戸	2
寸法図	シーリング打替え		シーリング打替え		※シーリング打替え S=1:100 直立窓：1 階 斜窓：2 階 変換		シーリング打替え	
材質・長さ	アルミ (ブロンズ)	100	アルミ (ブロンズ)	100	アルミ (ブロンズ)	100	アルミ (ブロンズ)	100
窓枠・ガラス			FL 5t				納入リ6.6t	
枠材	アルミ (ブロンズ)		アルミ (ブロンズ)				戸草、レール	
金物			ワイヤー修繕装置一式				クレセント錠	
備考	ステンレス動点網付き				トップライト水切シーリング (W=1) 20×10、トップライトフレームシーリング (W=1) 20×20			

記号・場所	⑩ 窓	風除室	⑩ 窓	E V機械室
形式・数量	引分自動カメラ扉	1	片開きフラッシュ扉	1
寸法図	シーリング打替え		シーリング打替え、塗装変更	
材質・長さ	アルミ (ブロンズ)	100	スチール	40
窓枠・ガラス	FL 5-6t		S. O. P.	
枠材	アルミ (ブロンズ)		スチール	
金物	自動開閉装置一式 両面シリンドー錠 衝突防止用シール		引出系PH、レバーハンドル シリンドー錠、ドアクローザ 戸吊り	
備考	誘導灯は風除室のみ取付		甲種防火戸	

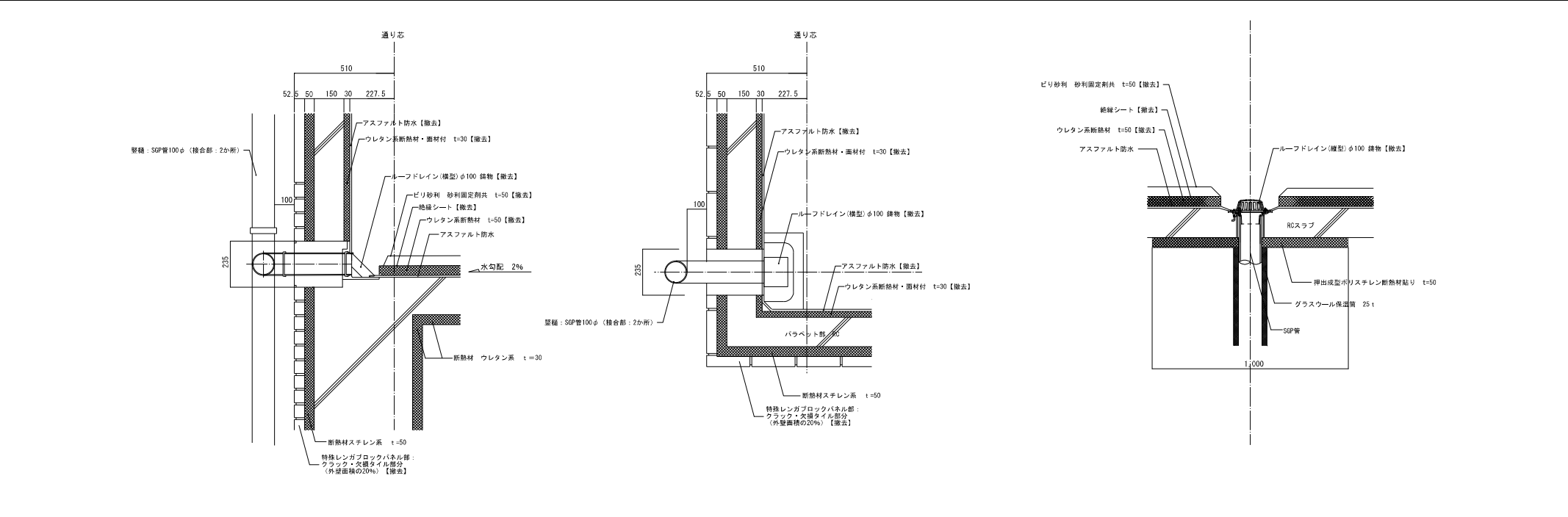
凡 例	サッシシーリング種類：サッシ廻りシーリング装置 (W=2) 25×15、サッシ継ぎダキシーリング装置 (W=2) 25×15、サッシ水切シーリング装置 (W=2) 15×10、トップライトシーリング別記 補強器具取付、下地処理 禁止塗料 断熱装 (1 層)
-----	---

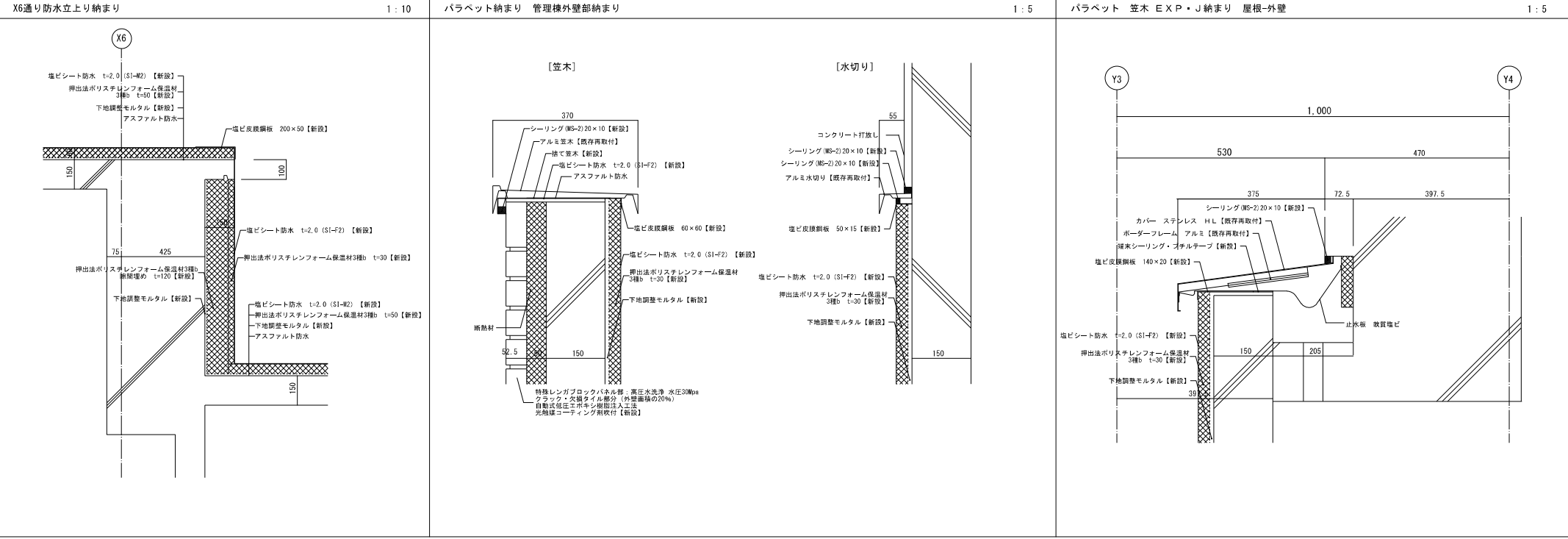




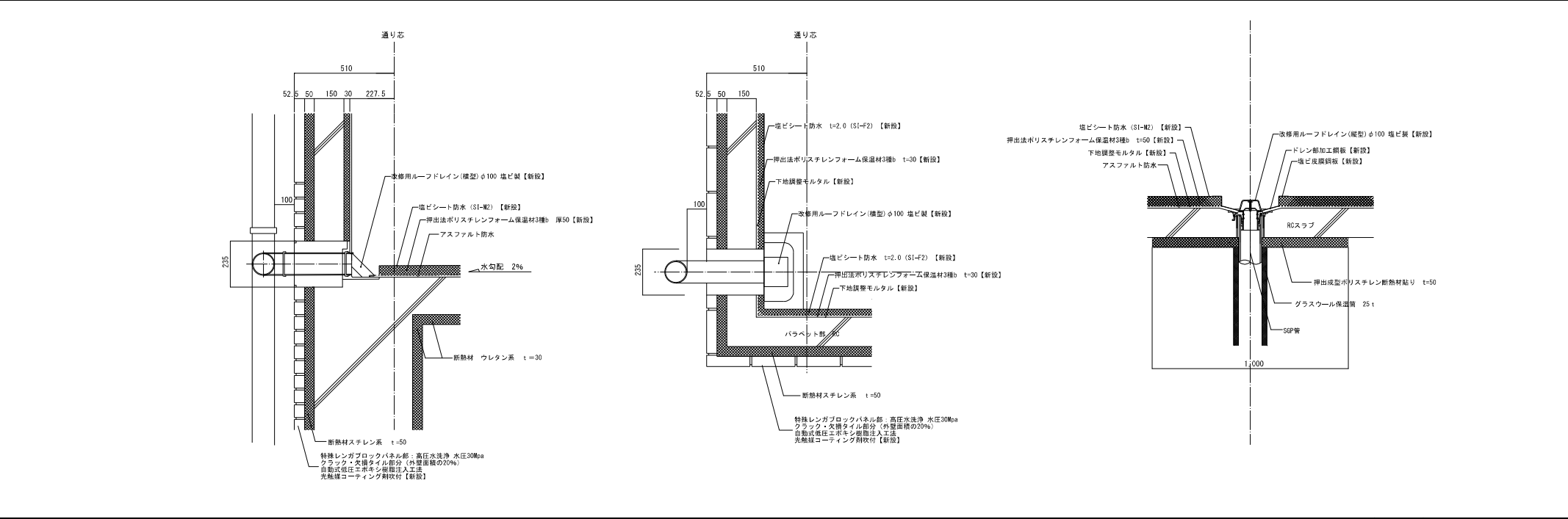


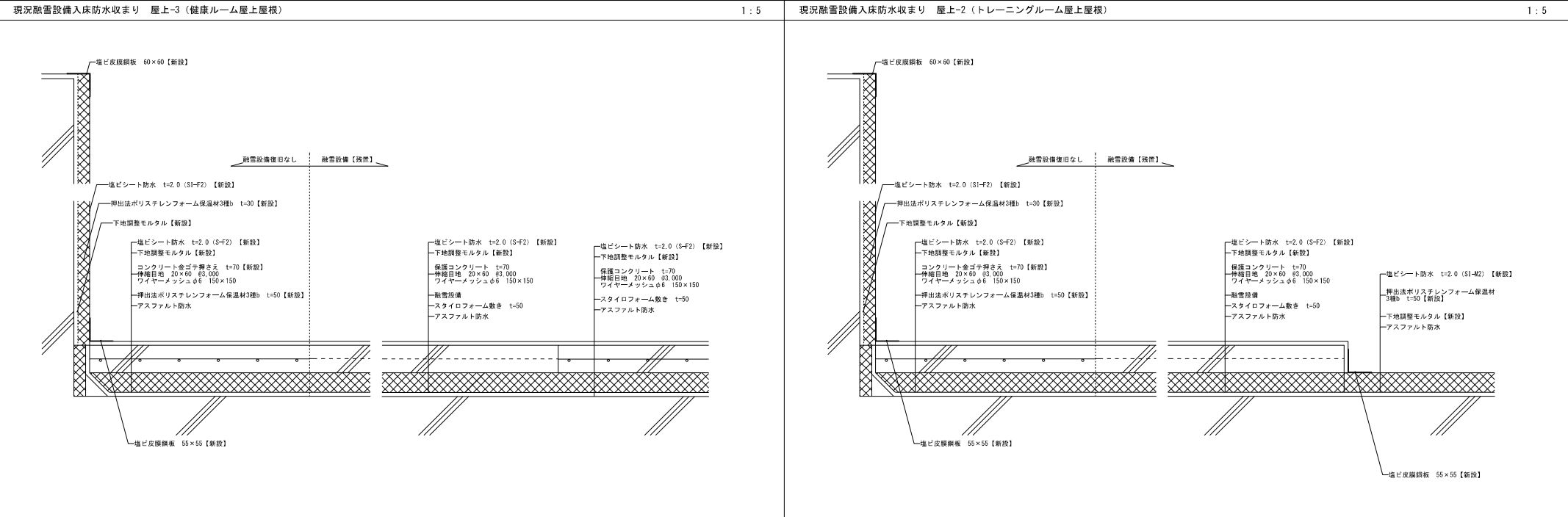
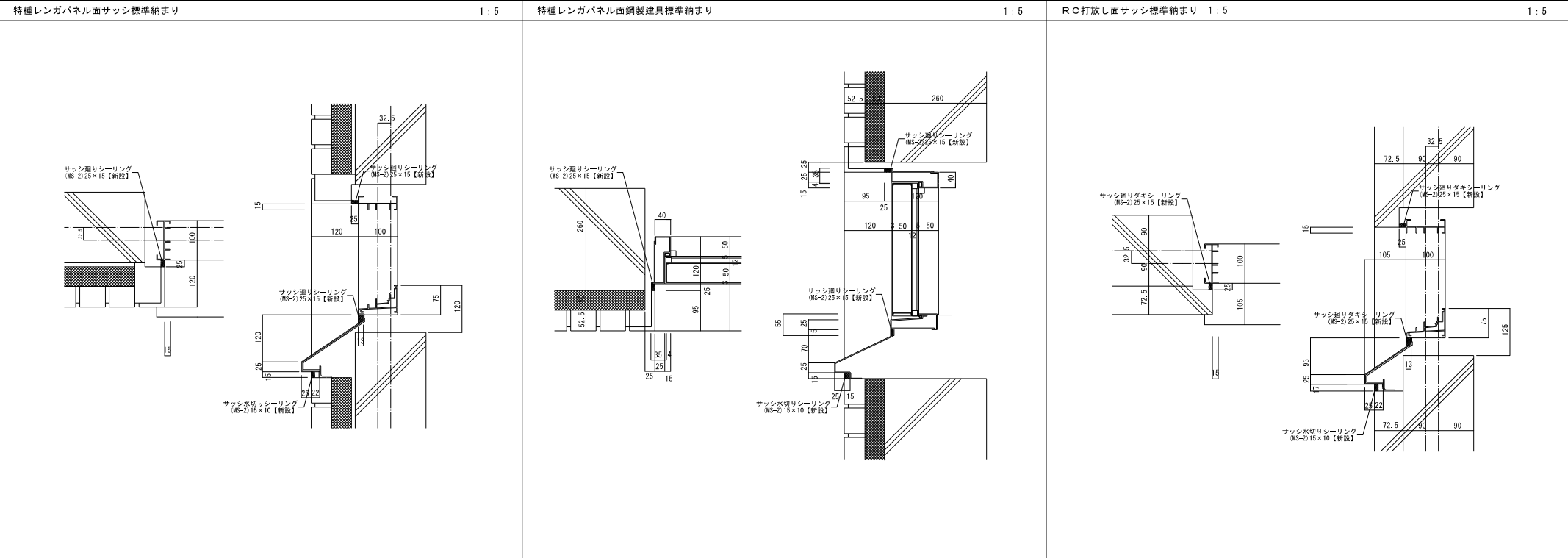
ルーフトレン横樋・縦樋納まり詳細図 1:10

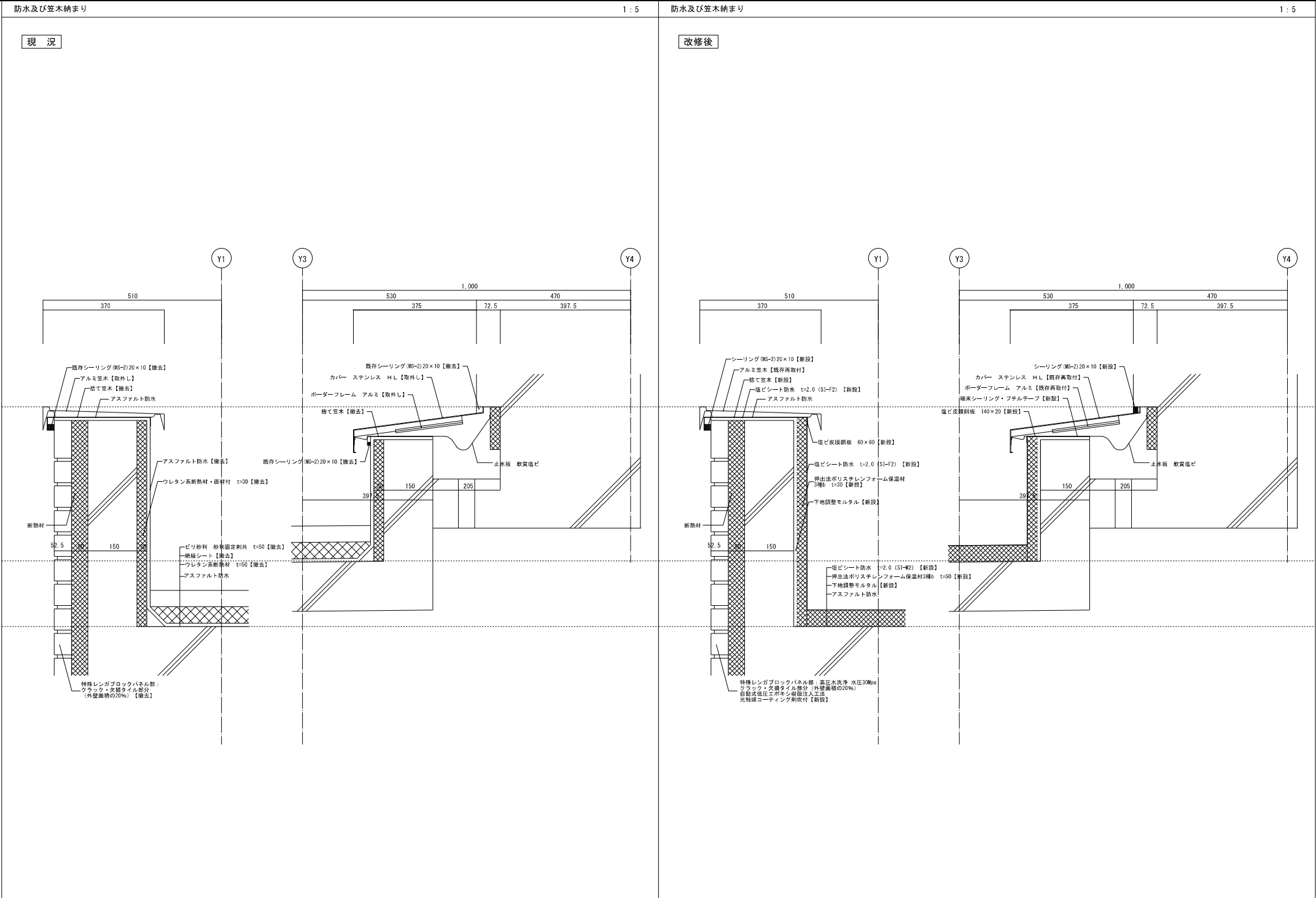


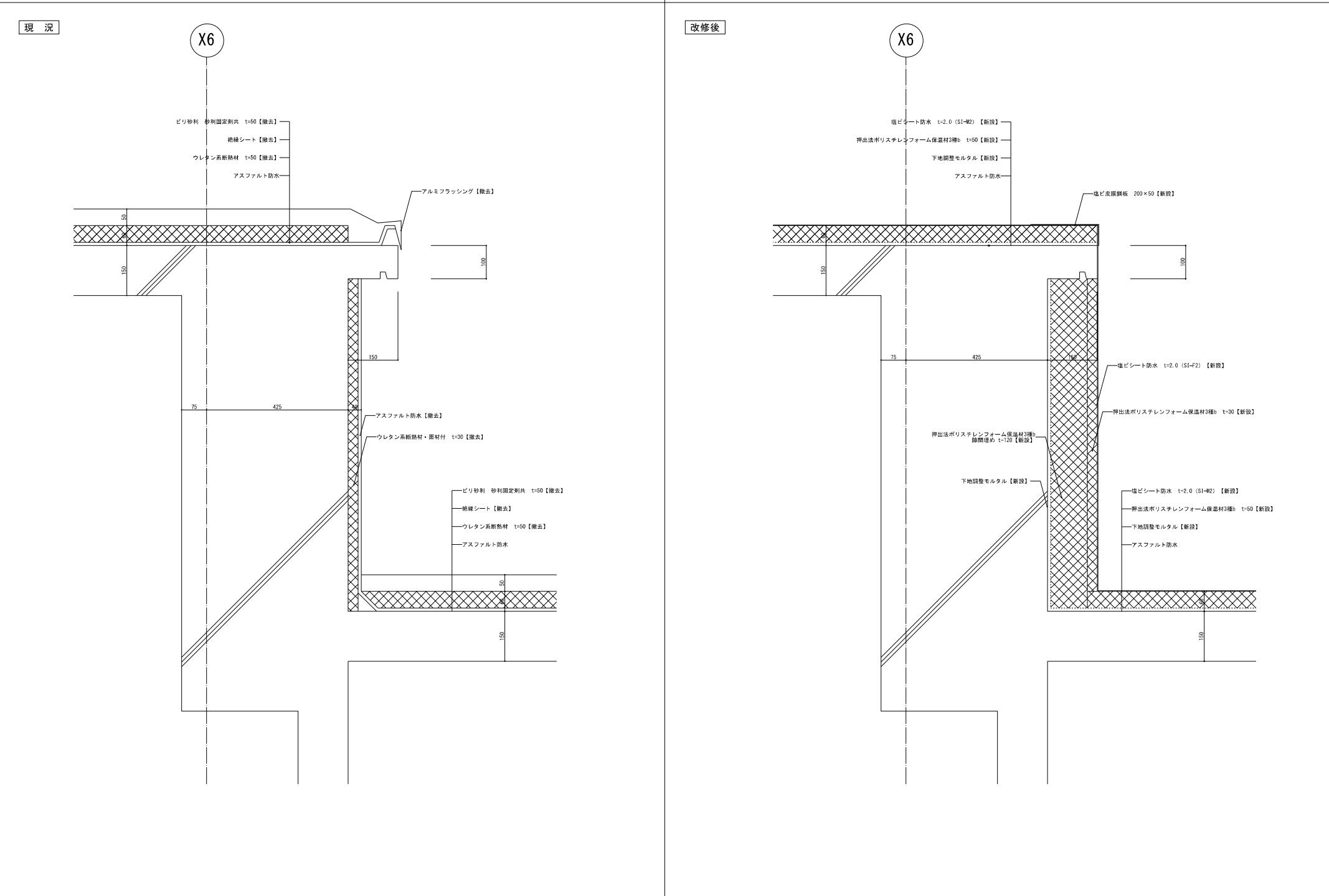


ルーフドレン横樋・縦樋納まり詳細図 1:10

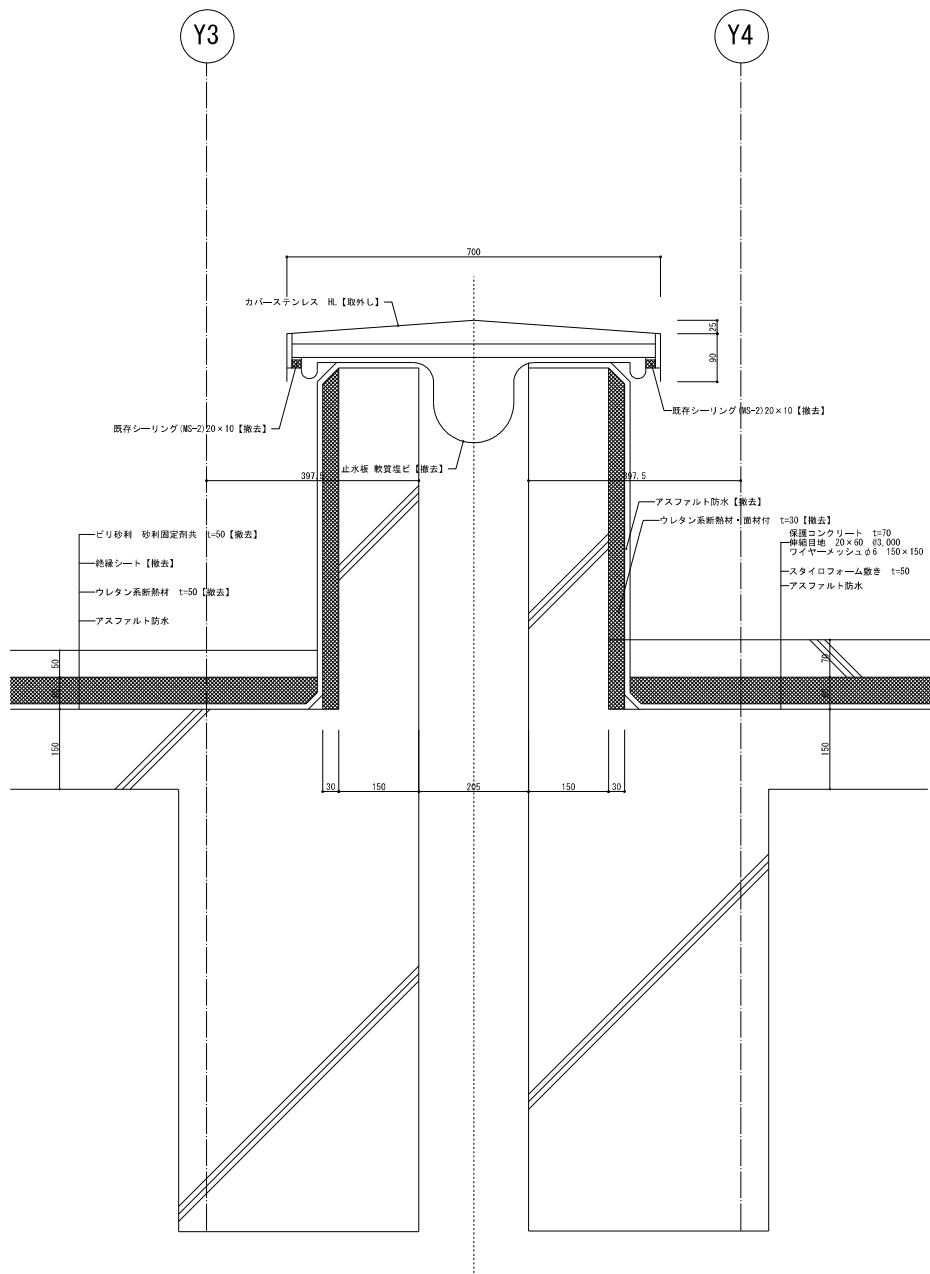




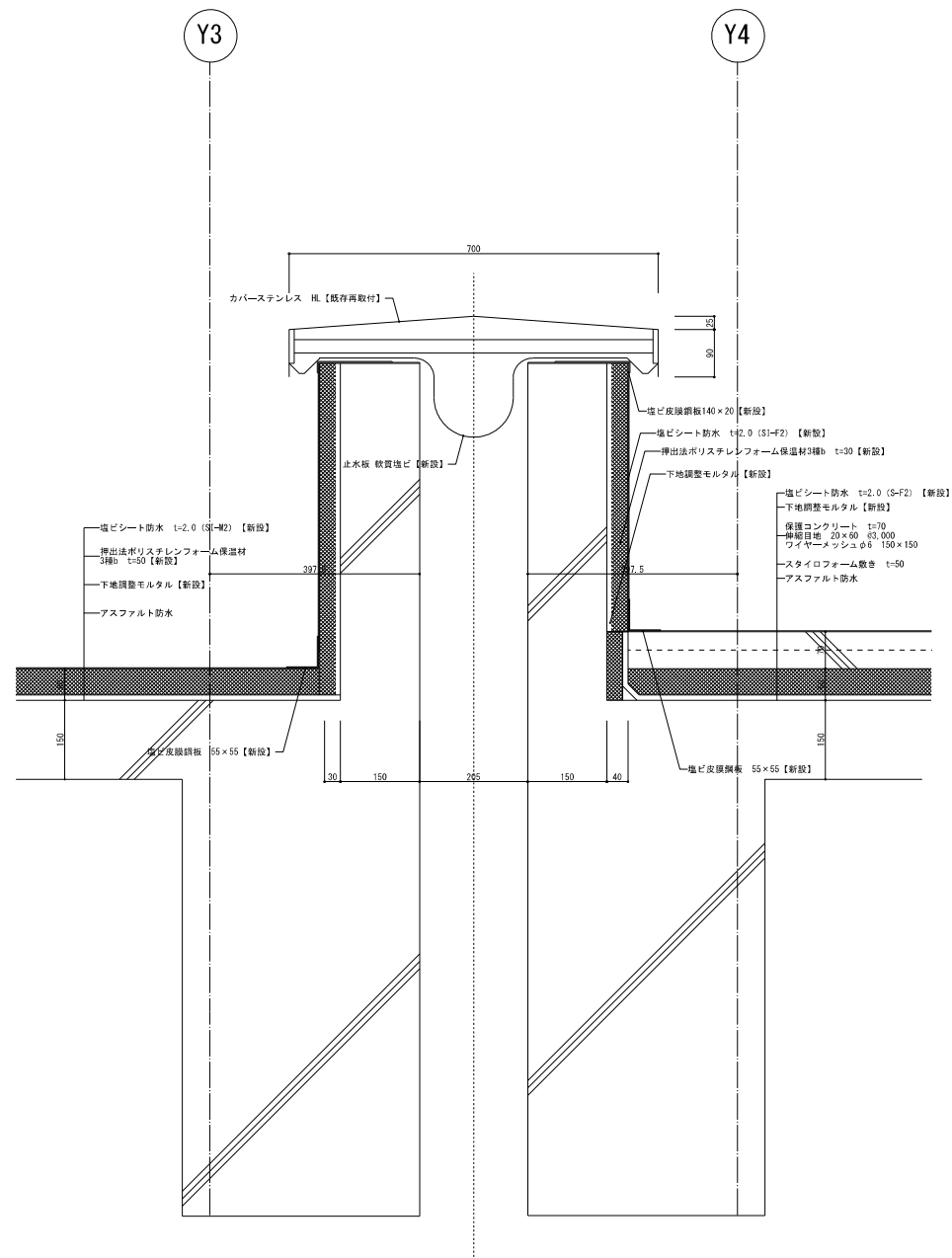


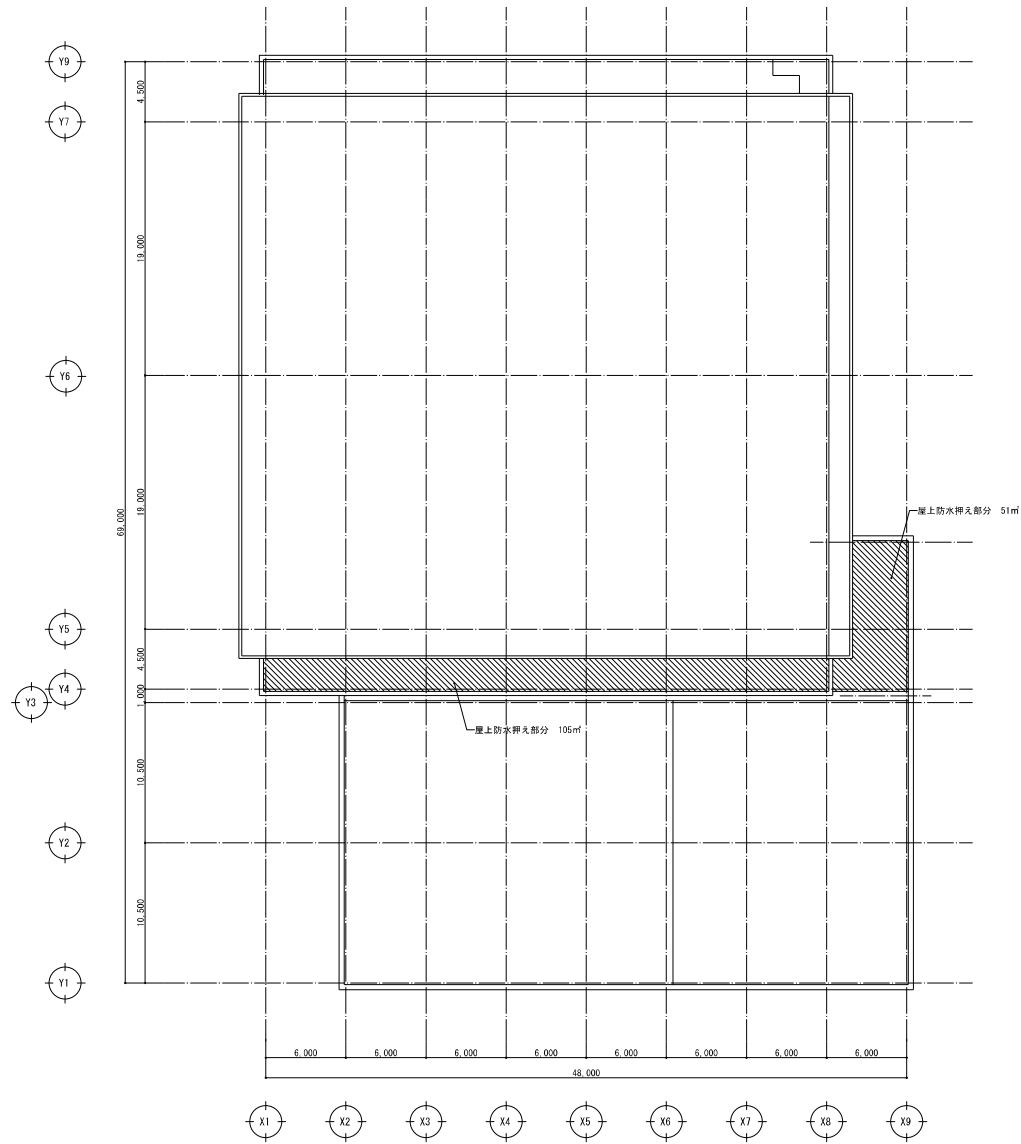


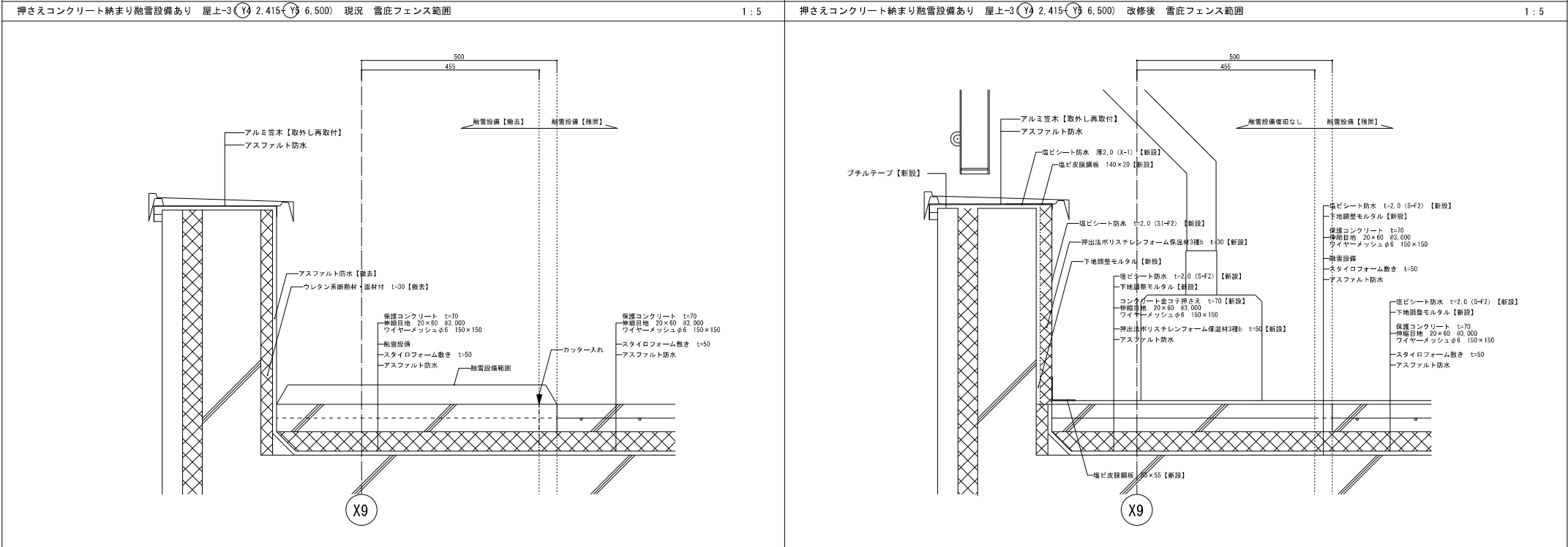
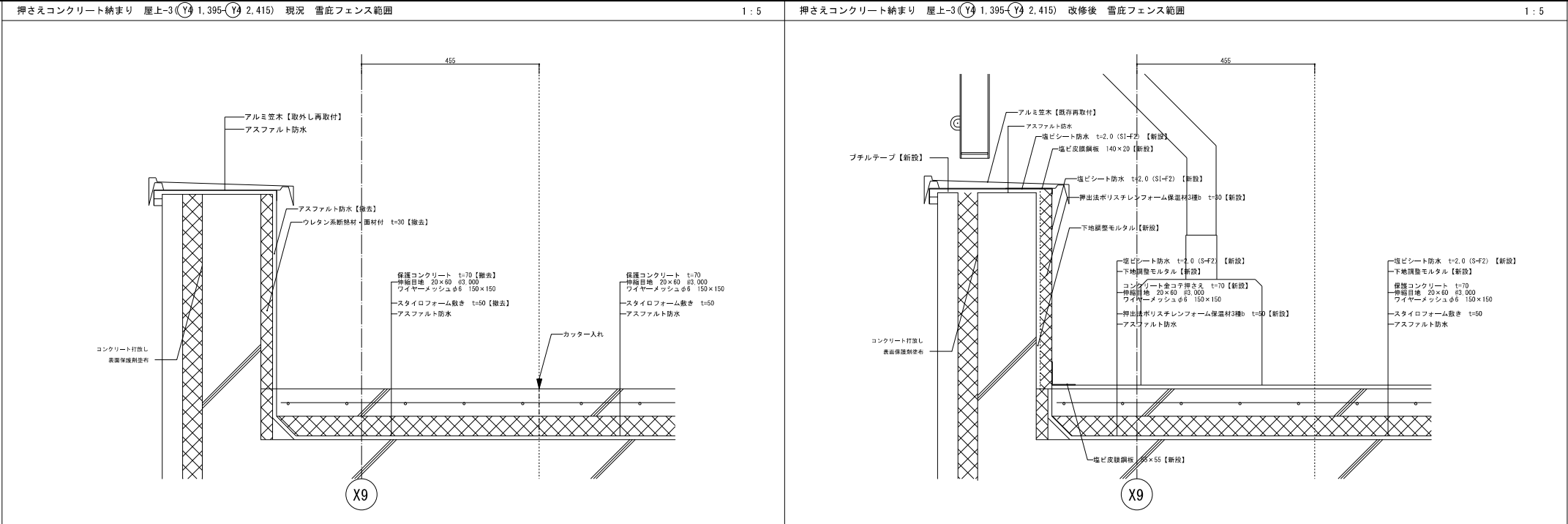
現況	
----	--

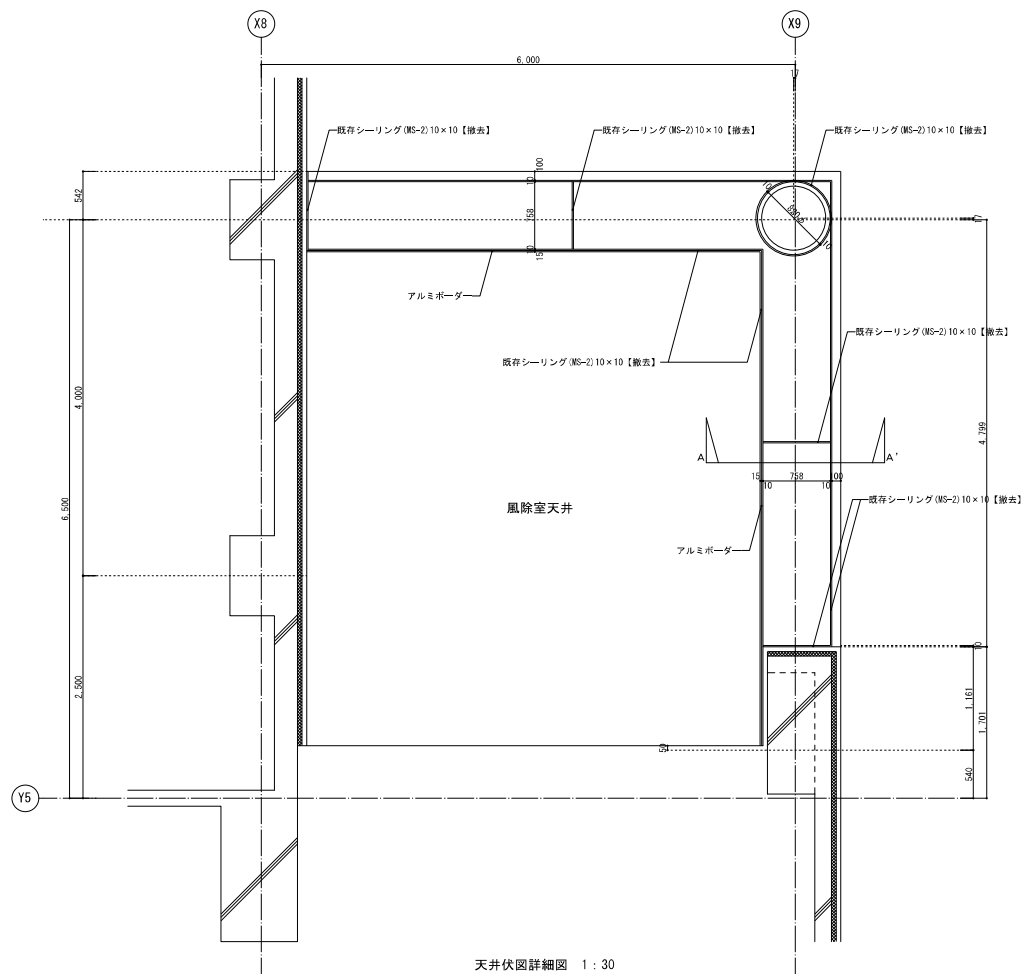


改修後

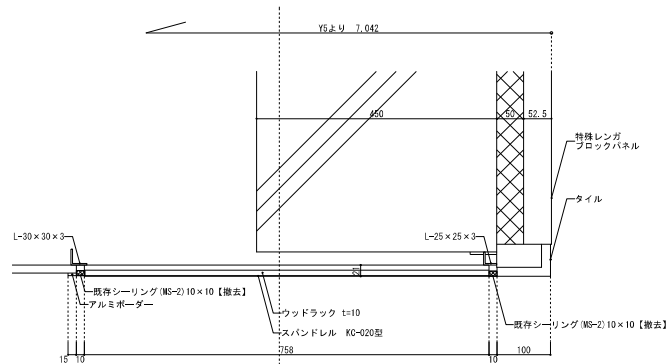




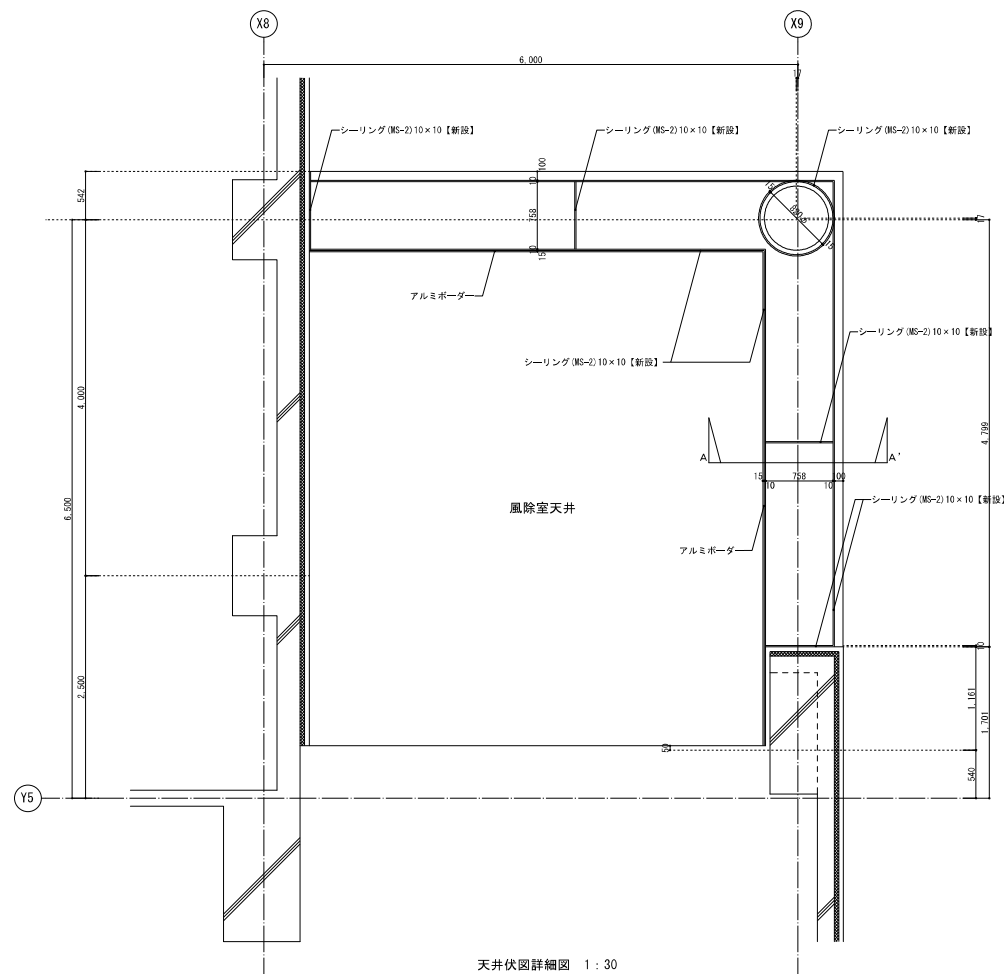




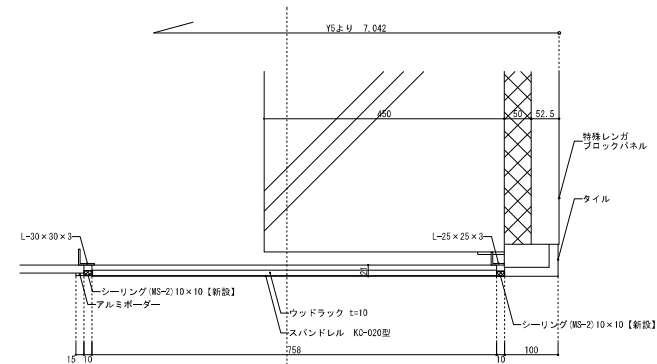
天井伏図詳細図 1:30



A-A' 断面詳細図 1:5



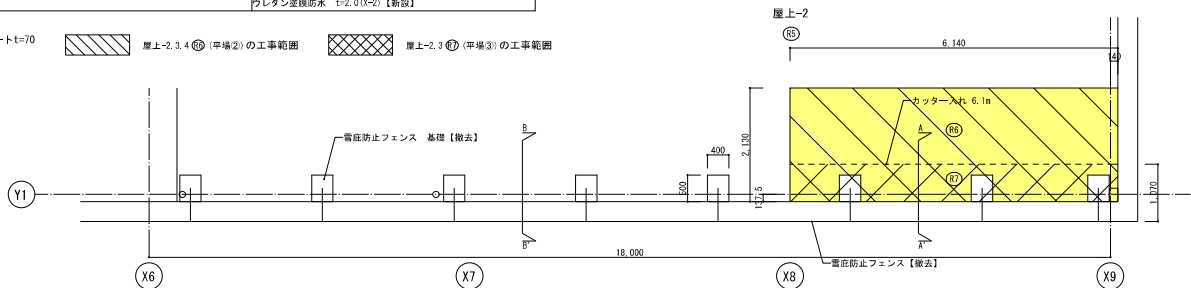
天井伏図詳細図 1:30



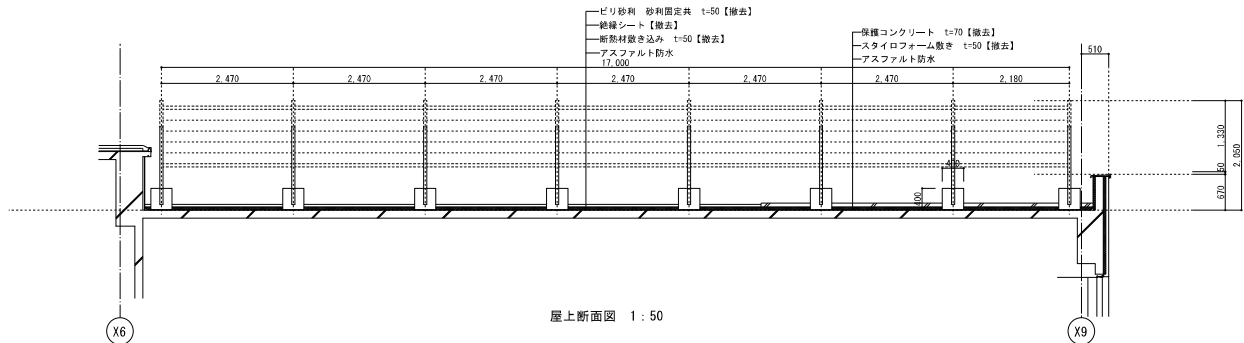
A-A' 断面詳細図 1:5

部位	記号	既存仕上	改修内容
屋上-2	平準① ㊦	ビリ砂利 砂利固定共 t=50【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S1-H2)【新設】
		絶縁シート【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
		ウレタン系断熱材 t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	アスファルト防水
平準②	㊧	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)
			スタイロフォーム敷き t=50
平準③	㊨	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	コンクリート金コチ押さえ t=70【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
立上り①	㊩	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S1-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
立上り②	㊪	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S1-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b融雪設備め t=120【新設】
			下地調整モルタル【新設】
屋上-3	平準② ㊦	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)
			スタイロフォーム敷き t=50
平準③	㊧	保護コンクリート t=70(一部融雪設備あり)【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	コンクリート金コチ押さえ t=70【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
立上り①	㊩	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S1-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
屋上-4	平準② ㊦	保護コンクリート t=70	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保護コンクリート t=70
			スタイロフォーム敷き t=50
立上り①	㊩	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S1-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
雪庇防止フェンス		既存雪庇防止フェンス【撤去】	雪庇防止フェンス【新設】
		既存雪庇防止フェンス基礎【撤去】	雪庇防止フェンス基礎 t=2.0(N-2)【新設】

凡例
保護コンクリートt=70
融雪設備範囲
屋上-2, 3, 4 ㊦(平準②)の工事範囲
屋上-2, 3 ㊧(平準③)の工事範囲



屋上平面図 1:50



屋上断面図 1:50

工事名称 令8現生工第1号 堀之内体育館管理棟外部改修工事
図面名称 現況 雪庇防止フェンス平面図・断面図

縮尺 A1 1:50
A3 1:100

設計番号 2025-6-A

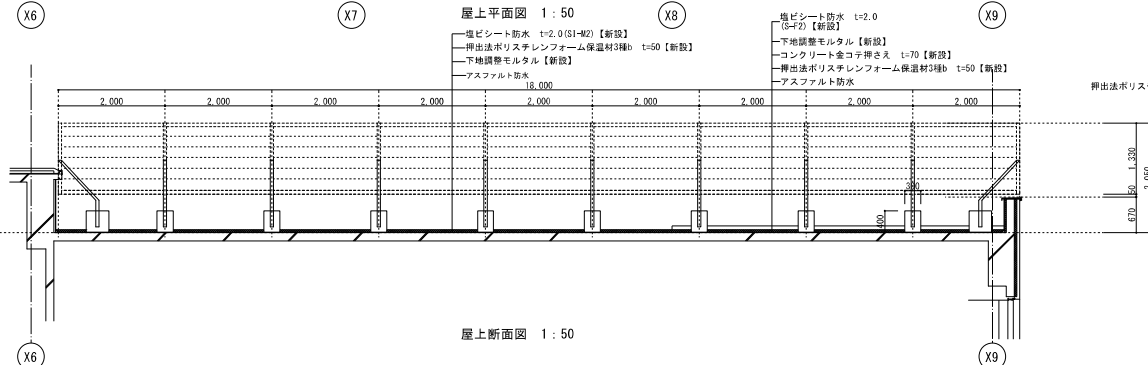
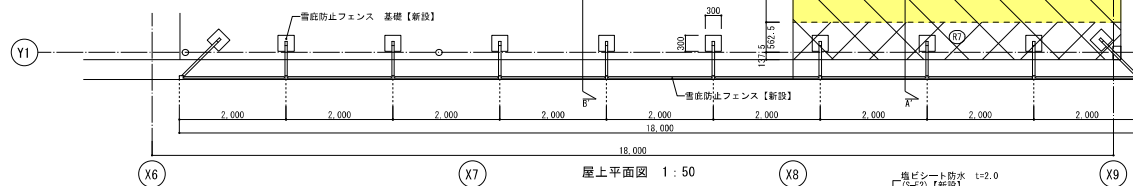
代表設計者 一級建築士事務所 小堀 公治
設計者 一級建築士事務所 小堀 公治

確認 相 出 作 監
年 月 日 令和8年1月

図面 No. A-40

部位	記号	既存仕上	改修内容
屋上-2	⑤5	ゼリ砂利 砂利固定共 t=50【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-M2)【新設】
		雑草シート【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
		ウレタン系断熱材 t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	アスファルト防水
平場②	⑤6	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)
			スタイロフォーム敷き t=50
平場③	⑤7	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	コンクリート金コテ押さえ t=70【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
立上り①	⑤8	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
立上り②	⑤9	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b(断熱層) t=120【新設】
			下地調整モルタル【新設】
屋上-3	⑤6	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)
			スタイロフォーム敷き t=50
平場③	⑤7	保温コンクリート t=70(一部融雪設備あり)【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50【撤去】	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	コンクリート金コテ押さえ t=70【新設】
			押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=50【新設】
立上り①	⑤8	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
立上り②	⑤9	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
屋上-4	⑤6	保温コンクリート t=70	塩ビシート防水 t=2.0(S-F2)【新設】
		スタイロフォーム敷き t=50	下地調整モルタル【新設】
		アスファルト防水	保温コンクリート t=70
			スタイロフォーム敷き t=50
立上り①	⑤8	アスファルト防水【撤去】	塩ビシート防水 t=2.0(SI-F2)【新設】
		ウレタン系断熱材・面材付 t=30【撤去】	押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b t=30【新設】
			下地調整モルタル【新設】
			アスファルト防水
雪庇防止フェンス		既存雪庇防止フェンス【撤去】	雪庇防止フェンス 基礎【新設】
		既存雪庇防止フェンス基礎【撤去】	ウレタン塗膜防水 t=2.0(X-F2)【新設】
※雪庇防止フェンス【新設】について		特記無き場合は下記による	
		鋼材は全て溶融亜鉛メッキ(ドブ)品とする ワイヤー網部はタンバクル・専用タリツ止めとする 基礎コンクリート Fc=21.8-18 天端はコンクリート即押金コテ仕上 ウレタン塗膜防水 X-F2工法 基礎鉄筋 D10 SD295 スラブにケミカルアンカー-D10 4本打込、露筋に接続	

凡例
 保温コンクリートt=70
 融雪設備範囲
 屋上-2,3,4 ⑤6(平場②)の工事範囲
 屋上-2,3 ⑤7(平場③)の工事範囲



屋上断面図 1:50

工事名称 令8現生工第1号 堀之内体育館管理棟外部改修工事
 図面名称 改修後 雪庇防止フェンス平面図・断面図

縮尺

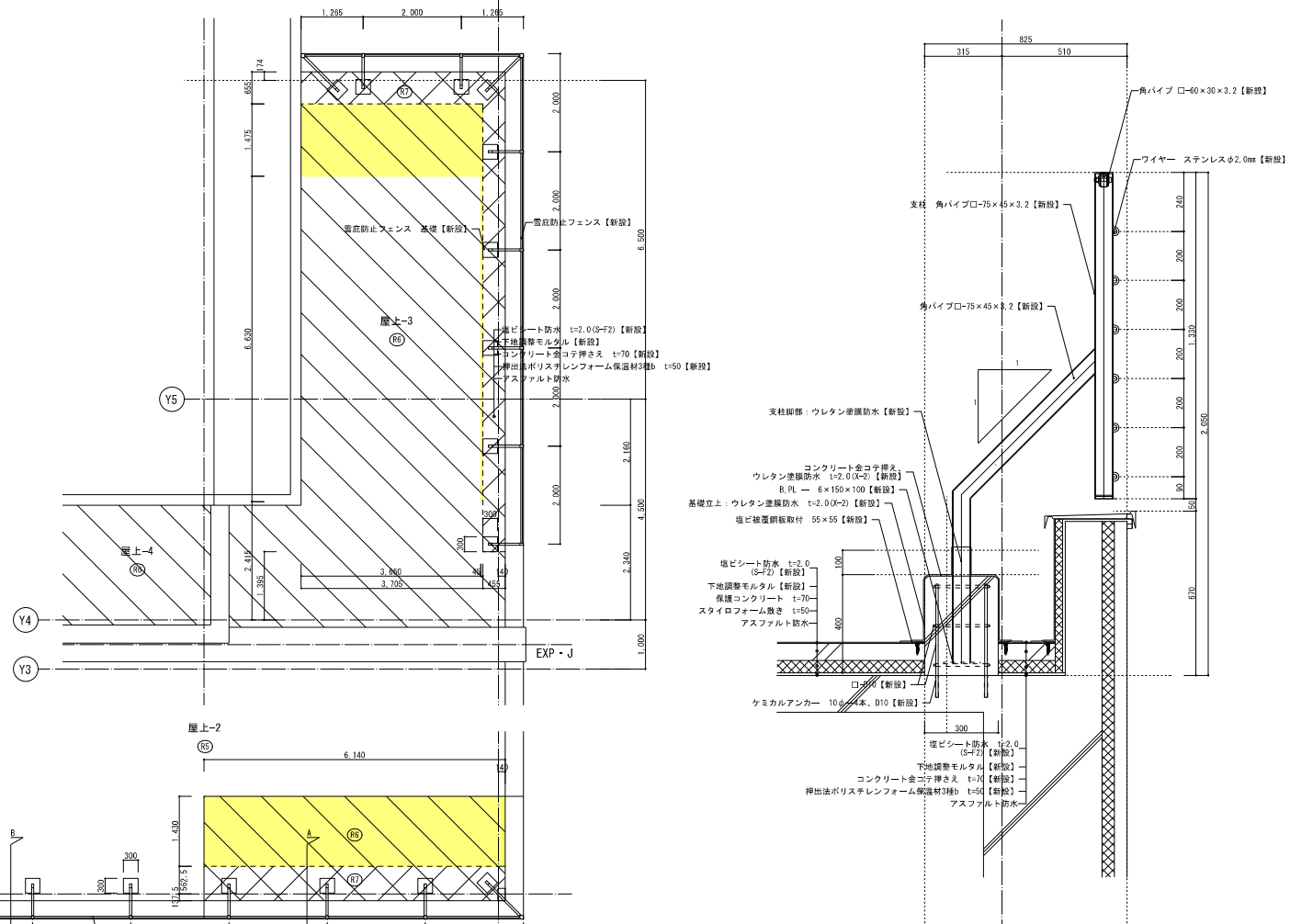
A1 1:10
 A3 1:20

設計番号
 2025-6-A

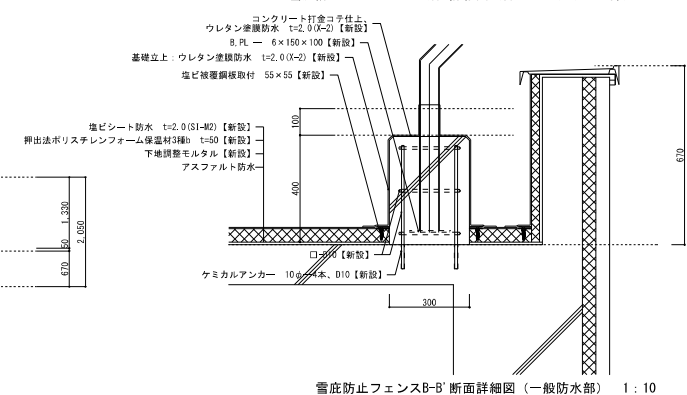
代表設計者 一般建築士登録第329055号 小畑 公治
 設計者 一般建築士登録第329055号 小畑 公治

確認 相出 作成
 年月日 令和8年1月

図面No.
 A-4 1



雪庇防止フェンスA-A'断面詳細図(押金コンクリート部) 1:10



雪庇防止フェンスB-B'断面詳細図(一般防水部) 1:10